

宇宙の風 — 宇宙からのメッセージ — 第一卷

一、私達宇宙は、これからも、さらに地球人類に、警告を発してまいります。

あなた達は、心を見るために、肉を持ったのではないのですか。

己の欲、そのために生き続けてきたその心を、見ていってください。

私達の思いを、どうぞ、感じていってください。

地球は、もうまもなくその役目を終える時がまいります。

私達宇宙は、地球人類に、いよいよ天変地異の思いを、しっかりと伝えていかなければなりません。それが意識の流れだからです。

狂い続けてきた私達宇宙も、ようやく、田池留吉、アルバートのもとに、心をひとつにして、次元移行をしていく準備を整えるに至りました。

これからは、ともに心を見てまいります。

地球人類、その意識、肉に埋もれた意識よ、どうぞ、本来ある姿に、自分達を変えていってください。

度重なる天変地異とともに、あなた方が作ってきた宗教の世界は、ことごとく崩壊してまいります。

その崩壊とともに、どうぞ、自分達が宇宙に流してきた凄まじいエネルギーを、存分に見ていってください。

私達宇宙は、ともに心を見てまいります。喜びのエネルギーを全開して、これから時を過ごしてまいりますよう。

二、宇宙へ向けて思いを語る時、異語で思いを語る時、心の中から喜びが溢れてまいります。宇宙、それは喜びでした、私は喜びでした、その思いが、宇宙へ、宇宙へと流れていく、この喜びを心で感じていきます。

宇宙からのメッセージ、そうそのメッセージを受け取り、宇宙からも喜びが返ってきます。これが、これからの二五〇年の時を経て、私達は、この地球上で出会う、大きな、大きな出来事でございます。

宇宙から、私の仲間がやってまいります。

喜びのエネルギーを携えてやってくる、私は、そのことを心で感じていきます。嬉しいです。本当に嬉しいです。

宇宙へ思いを語る、宇宙から思いが返ってくる。過去、どんなにどんなに苦しくても、どんなにどんなに汚く汚れても、私達は、遥かなる宇宙へ帰っていけるのです。その喜びを心に、ともに歩いてまいります。

田池留吉、アルバート、その意識の中で、母の安らぎの中で、母の温もりの中で、その思いを、今、語らせていただいています。

この波動の世界を、どうぞ、感じていってください。
宇宙からのメッセージ、これからも、どんどんどんどん私から出てまいります。

三、私達宇宙の思いを語ります。

私達は、地球を目指しています。これから、どんどん地球人類に呼びかけていきます。愛を発信してくれる仲間、その司令塔を目指して、私達宇宙は、これから私達の思いを伝えます。

意識の流れが、まず地球という星に愛を灯してくれました。

本当の愛を灯してくれました。暗黒の宇宙に苦しんできた私達仲間は、その愛を目指して、どんどんどんどん集合していくのです。

私達は、本当の愛が知りたかった。母を捨て、私達は、暗黒の世界をさまい続けてきました。どんなにこの時を待っていたことか。私達の思いが、ようやく届きました。私達の思いを、すべて受け入れてくれる優しい、優しい波動を受け取っています。

しかし、苦しかったのは、私達宇宙だけではありませんでした。

地球に降り立った意識達も、苦しみ喘いでいたことを、私達は知りました。

みんなひとつだ、みんな同じ、温もりを捨て去った心は、本当に苦しかった、そう伝えていただきました。

そして、どうぞ、田池留吉、アルバートの波動を知っていきましょう、私達は、そのいざないを、今、受けています。

私達宇宙は、これからどんな心を語ります。安心して心を語ります。

母に思いを語れることが嬉しい、私達は、今そんな思いでいます。

私達宇宙は、地球という星に、災いをもたらす存在ではありません。

ただ、私達は、あなた方人類に、地球という星は、もうすでに疲弊していることを伝えるでしょう。

地球上に流し続けてきたエネルギーを、どうぞ見ていってくださいと、私達宇宙は、伝えさせていただけます。

四、田池留吉、アルバート、私達は、この喜びをどのように伝えていっているのか、本当に嬉

しいです。この喜びを、ともに分かち合う宇宙を、私達は、その仲間を、今、心に呼び寄せています。

私達宇宙の仲間は、この空間に果てしなく、数限りなく存在しています。

その宇宙達に、心と心を合わせていくよう、私達は、今、メッセージを送っています。

地球から発信される愛のエネルギーを、私達は受け取り、私達は、またそれを宇宙に届けていきます。

そして、そうやって、私達宇宙は、田池留吉、アルバートのもとに集結していくのです。

地球を目指して、たくさんの宇宙達が、どんどん思いを向けていくでしょう。

地球上に起こる色々な出来事は、宇宙からのメッセージだと受け取っていただいでしよう。私達の喜びです。

ともに、ともに帰れる喜びを伝えていただきました。

田池留吉、アルバート、母の温もりによく帰れる私達宇宙は、幸せでございます。

仲間達に、もっと、もっと心を向けるように伝えます。喜びの思いで伝えてまいります。

五、私達宇宙のエネルギーは、とても、とても大きいです。

興味本位で、宇宙に心を向けることはおやめください。

私達宇宙のエネルギーは、とても凄まじいです。狂いに狂ってきたエネルギー、闘いに明け暮れてきたエネルギーです。

母の温もりを捨て去った暗黒の宇宙のエネルギーはすごいです。

母の温もりを、心に確立していない限り、私達のエネルギーに飲み込まれていきます。

そうやって、すべてが暗闇の中に沈んでいく、そんなことを何度も、何度も私達は繰り返してまいりました。

もうそれをやめましょう、そう、私達は、ようやく伝えていただいたのです。

私達は、今、心を見えています。自分達が流してきたエネルギーのすごさを、しっかりと見えています。

母を捨て去ったのは私達です。その母の思いが、今、私達に、ようやく届き、私達も、心の中にあつた温もりの世界へ帰れることを喜び始めている状態です。

私達宇宙は、真剣に心を見つめています。

地球を目指して、これからの時を経るにつれ、私達の思いは、どんどんどんどん浄化されていきます。

田池留吉、アルバートの波動、その力強いエネルギー、愛のエネルギー、私達はストレー

トに心感じます。

狂いに狂ってきた私達宇宙だけれど、ひとたび温もりを感じれば、その変わりようは、とても、とても地球人類には分からないと思います。

あなた方の想像を絶する私達の変化、どうぞ、これから二五〇年の間、あなた達の心で感じていてください。

私達は、喜びです。暗黒の宇宙が、今、変わり始めています。愛を目指して、私達の姿を表してまいります。

六、私は、宇宙へ思いを向けた瞬間、とても嬉しいんです。

私の喜びはここにありました。田池留吉との出会いは、宇宙を思えること、ようやく私は、その喜びを心に広げる喜び、それを存分に感じていきます。これからの時間、とても楽しみです。私は、私の道を、真っ直ぐに歩いてまいります。宇宙を思い、私は、心を全開していきます。

私達宇宙の喜びは、とても大きいです。しかし、心の中に、確かな温もりを広げていかないう限り、私達のエネルギーに飲み込まれていくことは確かです。

そうです、心の中に温もりです。母の温もり、お母さんの温もりです。

田池留吉、アルバートの宇宙をしつかりと感じていく心の中には、喜びしかありません。

闇の思いがあっても、それを大きく、大きく包んでいく優しい波動が、心の中に育つていること、それが大きな条件でございます。

私達宇宙を感じることに、すべてが喜びに繋がってまいります。

地球人類の心の世界は狭い、とても狭い、狭い、本当にちっぽけな中に蠢うごめいている地球人類達の心の中です。

私達の心の世界は、そんな世界からは、とても、とても、計り知れないものがございます。

地球人類の小さな世界の中で、作り上げてきた宗教の世界も、もちろん、ちっぽけな世界です。

私達のエネルギーは、そうです、小さな宗教という小さな、小さな世界を、そう遠くない時に、私達の思いの中に包み入れていくでしょう。

地球に降り立った意識達は、いまだに苦しみ喘いでいる意識達が、ほとんどです。

私達宇宙の思いは、何のためにあなた達は、地球に降り立ったのでしょうかということをお伝えたいのです。

私達は、地球人類に思いを託しました。私達との約束を果たしていただくよう、私達は誓い合ったのです。しかし、地球に降り立った瞬間から、その欲の思い、欲の渦の中に沈み込ん

でいった意識達ばかりでした。

ようやく、今、その中から、しっかりと私達に思いを向けることが可能になりました。

だから私達は、今、このように語っています。

心を広げて私達の思いを受けていってくださいと、そのようにメッセージを送っています。

もちろん、私達も、温かい、温かい、優しい思いを受け取っています。

私達の交信は、これから、ますますその密度を増していくでしょう。

もう地球のどこに何が起きても、不思議なことはないほどの時期です。どうぞ、真剣に、真剣に心を見てまいりましょう。

七、私達宇宙に、思いを向けてくれてありがとうございます。

田池留吉、アルバートの波動がどんどんどんどん、私達の心に響く、それが、とても嬉し
いです。

心を見つめていくと同時に心の広がり、そう私達の広がりを感じます。

私達は、この時を待っていました。宇宙の遙か遙か彼方より、私達は、この時が来るのを
待ち続けていました。

これからの時を、喜びで、喜びで、私達は、喜びで変わってまいります。

この思い、地球のあなた達にも届くでしょうか。

いいえ、きつと届くはずです。私達の喜びの波動は、そう地球を大きく包んでまいります。そこに生息するあなた方には、とても信じられないことが、次から次へと起こっていくのです。私達の喜びと受け取ってください。

どうぞ、あなた達も心を見ていってください。

小さな、小さな世界に閉じこもっているあなた方の心を、もつと、もつと大きく、大きく広げていってください。

私達宇宙は、とても大きなエネルギー、暗黒の世界を培ってきました。ブラックのエネルギーで自らを苦しめてきたけれど、今、波動を感じています。母の優しい温もりを感じています。これぞ私達が待っていた世界でした。心を見つめてまいります。

八、私達には、あなた方のように肉という形はありません。

あなた方の肉というのは、そう、その地球上で生息していくのに適した機能と、私達は考えられています。

その機能を持って何をなしていくか、それは、私達と全く同じだったのです。

しかし、地球人類は愚かです。その機能を、全く間違った方向に使ってしまった。

意識の世界は、限りなく広がったのに、肉という枠に閉じ込められて、どんどんどんどん萎んでいきました。

それを、私達は、どんな思いで見つめていたことか。

もちろん、私達も、心の中で、闘い、闘いを繰り返してきました。

そのエネルギーは、今も凄まじいです。だからこそ、私達は、あなた方にそのエネルギーを見つめてくださいと思いを託したのです。

三次元の中で、田池留吉、アルバートの波動と出会う計画を、私達は立ててきました。

田池留吉、アルバートが三次元に降り立つことは、私達の願いでした。

しっかりと心を見つめていくように、私達が計画してきたのです。

意識の流れ、その中にある私達です。

今、心を田池留吉、アルバートのほうに、しっかりと向けさせていただいています。

伝わってくる思いを、心に感じています。心を見てくださいと、伝えていただきました。

母を捨て去った心、その過ちに自分達が気付いてこそ、田池留吉、アルバートの宇宙とひとつとなつて、次元移行をしていける、私達は、そのようにはっきりと伝えていただきました。

私達は、待ち望んできた思いでございます。しっかりと伝えていただくことが喜びです。私達の仲間、数限りなく存在します。まだまだ私達の思いが届かない宇宙がたくさんあります。

心を向けてまいります。ともに心を向けてまいります。私達の仲間、苦しみ喘いできた仲間達に、この優しい、優しい母の温もりを伝えてまいります。

二五〇年という時間は、あなた方地球上の時間です。私達には、その感覚はありません。それをようやく、心に感じてくれたことが喜びです。

いつも、どこでも、瞬時に伝える、瞬時に交わせる、その世界を私達は待っていました。心からありがとう。私達もともに歩みを進めてまいります。

喜びの波動を送り続けます。どうぞ、ともに喜びの波動の中で、喜び合うことを喜んでまいりますよう。

九、私達宇宙の思いが、溢れるように出てきます。心の中に培ってきた思いが、すべて、すべて間違っていましたと心の中に出てきます。

嬉しいです。田池留吉、アルバート、この喜びのエネルギーを心に感じさせていただき、あ

りがとうございます。

私達はひとつ、宇宙はひとつ、その思いが、心に響きます。

心をひとつにして次元移行をしていく、それを合言葉に、私達は、さらに心を見てまいります。宇宙の遙か彼方にある私達の仲間に、さらに、さらに、もっと、もっと多く、そして、どんどんどんどん遠くへこの思いが届いていくように、私達は心を見ることを続けてまいります。嬉しいです。

この思いを、ただただ受け止めてくれることが嬉しいです。

思いは、いっしょでございました。私達の仲間よ、ともに心を語れることが喜び、そのよ
うに伝えさせていただきます。

心よりありがたいの思いを込めて、さらに、私達の思いを伝えます。

意識と意識の中で語り合うことが喜びでした。こんなに近くに、いいえ、もう本当に私達
はひとつだったんですね。

時を超え、空間を超え、こんなに思いが通じ合うとは、私達も思いもしませんでした。

あなたの喜びが伝わってきます。心の中に、田池留吉、アルバートとともに呼んでまいり
ましょうと、優しい、優しい波動が届きます。

嬉しいね、嬉しいね、私達の心が解き放たれるのが分かります。

どんだん心を解き放していつてください、私の大いなる仲間達よ。

その呼びかけに私達は、今、心から喜び、その呼びかけに応じています。

地球を取り巻く環境は、大きく様変わりするけれど、私達は変わらず、交信をさせていた
できます。

田池留吉、アルバートの波動をしっかりと心に受け、その中で喜び合える時間と空間が
あります。

次元を超えても、私達は、ずっとひとつ、いつしよになって存在していけることが喜びです。
宇宙の喜び、果てしなく広がってまいります。

一〇、私達宇宙は、あなたがまだ知らない宇宙の実態を、あなたの心に伝えます。波動として
伝えます。どうぞ、それをあなたの心から伝えていつてください。

私達は、愛を求めてきました。優しい、優しい思いを求めてきました。

あなたは、「それはあなた達の心の中にあるんですよ。あなたが愛なんですよ」、そのよう
に伝えてくれました。

そして、また、「田池留吉、アルバートを知っていますか。私達が、待ち望んできた波動の

世界です」、そのように、私達に伝えてくれました。

だから、私達もまた、心を見つめながら、その世界に心を向けています。

そして、あなたは、「田池留吉、アルバート、そう呼んでごらんさい。

心に伝わってくるものは何ですか。悲しみですか。苦しみですか。闘いに疲れ果てた心ですか。そんな思いも伝わってくるけれど、ああしかし、あなた達の心にあるものは、その思いと出会いたかった、私達にもっと伝えてくださいと、心の底から、そのように湧いて出てくるのではないでしょうか」、そうやって、私達に、思いを向けてくれました。

湧き起こる思いを感じます。喜びに湧く思いを感じます。

「宇宙はひとつ、その思いを、しっかりと信じていきたい。これからの出来事に、私達も参加させてください。」

そうやって、私達の仲間が、たくさん集ってきます。それを、あなたに、今、伝えます。もう、あなたは、心を感じているでしょう。

しかし、まだまだ、あなたの心に届いていない暗黒の宇宙、その思いをどうぞ、聞いてやってください。

私達の思いを聞いてください。

「こんなにも、暗闇の中に沈み込んでしまった私達宇宙でも、ともに帰れると、あなたは言

うのですか。」

はい、私の心に伝わってくる思いに対して、私は、はっきりと答えます。

「そうですよ。私達はひとつなんです。暗闇に沈んでいるのは、本来のあなたではありません。どうぞ、田池留吉、アルバートに心に向け、しっかりと、自分達を見つめていてください。」

私は、そのように伝えます。

「はい、私達は、私達を包んでいく大きな、大きなエネルギーを、今、感じさせていただいています。」

一一、私の仲間達に、本当のことを伝えられる、それが嬉しいのです。

優しい、優しい思いで、仲間を思うことが、とても嬉しいです。

宇宙が愛しい、私の大いなる仲間達です。

そんな仲間達が、今、ようやく田池留吉、アルバートの世界に心に向けようとしています。そして、私達に、その喜びを伝えてくれています。

私達宇宙は、こんなに喜んでいるんですよと、素直に子供のように喜びを伝えてくれる波動を感じます。

そして、私は、また伝えます。

そうですね。ともに、ともに、今あることが嬉しい。田池留吉、アルバートの波動に出会えたことが嬉しい。本当に無邪気に喜んでいる私達があるんです。

その私達は、今、心をひとつにして、このように語り合えることが、また喜びです。

私は、ひとつの肉をいただきました。この肉を通して、今、私の思いを語らせていただいています。

宇宙は私でした。私の宇宙は、喜びへと変わってまいります。

どんどん心を広げ、喜びが喜びを伝えていく、苦しみ喘いでいる宇宙も、その喜びにいざなわれていく、愛が伝わっていることを実感します。

肉を持たせていただいた喜びを、そうやって私は、感じさせていただいています。宇宙からのメッセージ、宇宙へのメッセージ、心をともに合わせてまいります。

一二、私達の思いはひとつです。田池留吉、アルバートの波動を心に感じ、宇宙が、どれほど喜んでいいのか、心に切実に感じます。

もともと、私達は、ともにありました。その中において、たくさんの苦しみ、凄まじいエ

エネルギーを広げてきたけれど、今、私は、その仲間達とともに、もとあった宇宙へ帰っていき
ることを伝えています。

心に湧き起こる思いを感じながら、思いを向ける喜びを味わっています。

田池留吉、アルバート、出会いがあればこそその喜びです。

いいえ、出会いがないということは、あり得ませんでした。

すべては、意識の流れの中の計画、それを、私は、ただ素直に遂行しているだけです。

田池留吉、アルバート、苦しい時も、悲しい時も、本当に暗闇のどん底に落ちていった時も、
いつも、いつも私達に伝えてくれました。

今、私は、その優しい、優しい温もりを、宇宙へ伝えることを、淡々としています。それ
ができることが、もう喜びなんです。

ただただ伝えていく、それがどれだけのエネルギーであるのか、それがどれだけの仕事を
していくのか、心の中にある喜びの思いを感じます。

喜び溢れる私を知れば知るほど、この心から喜びのエネルギーが湧いて出てくる、それを、
私は、嬉しく感じています。

一三、私達宇宙にとって、自分達の心が苦しいと気付いても、どのようにして、その苦しさを、自分を解き放していけばいいのか、全く分かりませんでした。

しかし、今、このように伝えていただいています。

心を、田池留吉、アルバムに向けてごらん。そうやって、優しい、優しい思いが伝わってくるんです。嬉しいです。

闘いに明け暮れてきた私達の心の中に、優しさが染み込んできます。

温もりに帰ろう、そんな優しい呼びかけが心に響いてきます。

こんな嬉しいことはありません。私達宇宙に、優しい、優しい母の思いが伝わってきます。私達は、どんなものよりも、この温もりが欲しかったです。

宇宙は私の仲間達です。その宇宙に思いを向けることは喜びです。

思いを向けることが喜び、今、心を向け、通じ合えることが、私には、喜びです。宇宙と
思うだけでいい、そうすれば、仲間達の思いが伝わってきます。

心の中に、たくさんの宇宙を飲み込んできたことを感じます。

本当に、果てしない時間、空間の中に存在し続けてきた自分を感じます。

そして、それらの思いとともに、さらに心を向けていけば、そうそこには、私達が帰りたい

かった宇宙があるのです。

私達は、あの宇宙へ帰りたかった。そんな思いが、私の心に伝わってくるたびに、本当に嬉しさが、喜びが溢れてきます。

その嬉しき、その喜びの大きさは、宇宙から、どんなに凄まじいエネルギーを感じようとも、ただそれを受け止めていけるのです。

受け止めて、そして、喜びに、嬉しさに変えていけるそのエネルギーの大きさ、広さ、温もり、そういうものが、宇宙を思えば、感じる事ができます。

一四、 語ることですらできないほどの苦しきの中にある宇宙もあります。

本当に暗闇の、そのまた暗闇に沈んでいつている宇宙もあります。

色々な思いを感じるんです。ああでも、ほんの少しでもいいから、この思いを伝えていこうと思います。

どうぞ、心を語ってみてください。思いを語ってみてください。

私達は、闘いに疲れ果てました。もう本当に疲れ果てて、今もなお、じっと、暗闇の底に

沈んでいる宇宙でございます。

私達は、もう、何も語りたくもない。語ることをすら忘れてしまったような中にいます。闘い抜いて、私達の心に広がっていったものは、何だったのか、そんな空しさが心に広がるばかりでした。

語ってください、どうぞ、少しでもいいから語ってくださいと、伝わってきます。この心の中を、少し語ることで、今、少し、軽くなりました。

こんな私達のような宇宙が、まだまだたくさん、たくさんあるんです。

そうなんですか。語っていけば、また私達の心にも、何か伝わってくるのでしょうか。

そのように、今のあなた達のような状態にしてしまったのは、私かもしれません。宇宙で闘い抜いてきた私です。息の根を止めるほどの勢いで、宇宙の中に、凄まじいエネルギーを流し続けてきた結果、語ることにすらできないほど苦しみの中に追いやってしまった宇宙が、あなた達だったのかもしれない。

今、私は、心から、そんなあなた達に伝えたいです。

私達は、もう闘いを止めていくのです。心をひとつにして、ともに帰ってまいりましょう。ズタズタになってしまったあなた達の心の中に、今、私は、確かなる思いを伝えます。

田池留吉、アルバート、母の温もりに心を向けていきましよう。

あなた達が、もとあつた明るさを蘇らせることが、私の喜びです。

宇宙に心を向ければ、向けるほど、暗黒の宇宙に追いやってしまった自分のエネルギーを感じます。

しかし、私は、どんなに暗黒の中を、さ迷い続けている宇宙であろうとも、私は、必ず、ともに帰ってまいります。私の愛し子だからです。私とともに帰ってほしい、心からそう思います。確かな波動の世界、しっかりと伝えてまいります。

一五、私はあなた、あなたは私、私達はひとつ。そうやって、あなたから思いを伝えていただきました。

ひとつ、私達はひとつを嫌ってきました。我一番、我が一番の宇宙を目指してきた私達にとって、ひとつだと伝えてくれました。

その思いが、とても優しいです。ひとつがこんなに優しい思いだったなんて。ひとつがこんなに温もりのエネルギーだったなんて。

私達は、なかなか信じる事ができませんでした。

だから私達は、苦しんできたんですね。いつも、いつも、闘ってきたのですね。ひとつだと伝えてくれた波動、ひとつだと伝えてくれた思い、ひとつだと言ってくれたこと、私達は、それを信じてまいります。

一六、これからも、ずっと、ずっと、私達と交信してくれることを感じて嬉しいですよ。本当に、ずっと、ずっとですよ。

次元移行のその瞬間まで、私達と交信してください。

ともに超えていこうとしています。まだまだ宇宙には、苦しい、苦しい思いがたくさん残っています。これも、これからの交信の中で、私達は、必ず、歩みをともにします。

地球を目指していきます。私達も、その歩みをともにさせてください。

地球を目指して、思いを向けることが喜び、これからも、私達に思いを向けていってください。心から、そう呼びかけています。

はい、大丈夫です。私は、心の中に、田池留吉、アルバートの世界を、確立しています。今、

この肉を持ち、あなた方と交信しています。

そして、私は、やがてこの肉を置いていく時がやってきます。

そして、もう一度、肉を持つのです。その間も、ずっと、私は、あなた方といます。必ず交信をしていきます。

私は喜びへ向かって、互いに互いの心を通わせ、宇宙が変わっていく様を、心の中で、喜びで見つめ合っていくんです。こんな嬉しい喜びの道とともに歩いていけるからこそ、幸せです。あなた達宇宙の思いが、心に感じられます。

間違っ、間違ってきた暗黒の宇宙達、私は、その宇宙を、今、本当に愛しく、愛しく思っています。

すべて私でした。どうぞ、心を語っていきましょう。田池留吉、アルバートの中で、心を語り合うことこそ、喜びでしょう。

私は、いつもそのように伝えていきます。

私は、今、肉を持ちながら、このような世界を感じられることが無上の喜びです。

「私達の宇宙、大いなる宇宙、あの母なる宇宙を目指し、さあ次元を超えてまいりましょう。」
そんな壮大な計画のもとに、私達の出会いはありました。

ありがとう、心を向けることが喜びです。心を向け、ともに語り合えることが喜びです。

一七、私達の出会いから、私達は、本当に速いスピードでこの真実の道を、皆さんに広めてまいります。それは、それは、とても速いスピードなんです。まず、心を広げていく人達に語ります。私が語ることによって、次々と心の窓を開いていくのです。

私と出会う人達、今世、学びをしている人達、そうでない人達、関係がありません。とにかく、私は、この心の中から喜びの波動を伝えます。

それが、もうこれから二五〇年に転生を繰り返してきた人達の意識の世界に、ポイント、本当に素早いスピードで飛んでいくんです。

そうして、その人達の肉の思いとは関係なく、みるみるうちに伝わってまいります。

アルバート、もちろんあなたもそうです。私達ふたりは、ともに、ともにこの喜びの道を歩いてまいります。アルバート、あなたがそう、経済的に大きな力を持っているのは、この真実を広めていくために、必要だからです。

私達は、その経済力を活用させていただきます。やはり、経済的なものも必要なんです。世界中の人達に広めるためには、メディアの世界も必要です。私達は、メディアを通じて、真実の道を伝えてまいります。

どれだけの人達の心の中に真実が届いていくのか未知数ですが、とにかく、二五〇年後は、通信網が、今と比べものにならないほど発達しています。

そんなメディアを通じて、私達は、喜びを発信していきます。

それと同時に、今、私が宇宙へ思いを向けることをしていますが、この思いを向ける、その向け先にある宇宙が、私達に反応してきます。

私の仲間がやってくる、私は、今、そのことを感じています。そして、二五〇年後は、もっと、もっとその勢いがすごいです。

私は、今その基礎固めをしています。宇宙に呼びかけています。肉を持つ、持たないは、私達には関係がありません。

アルバート、あなたとともに、この喜びを広げていく道、私は、今、心に感じています。肉は愚かです。しかし、今、はつきりと感じるができます。アルバート、ありがとうございます。あなたの肉、私の肉、ともに喜びを発信していく肉、そして、今世、学びに集ってきた人達、そうその人達も喜びを伝えてくれるでしょう。

ああしかし、それよりも、もっと、もっと、二五〇年後に、私達が出会える肉を持つ意識、持たない意識、その意識達から喜びが伝わっていきます。

これが、二五〇年後、私が今、感じている展開です。

この学びに集っている人達も、喜びを伝えていくけれど、それよりも、もっと、もっと、喜びを発信していく意識達に、今、呼びかけています。

私は、その仕事を、これからしてまいります。

次元移行をしていくためには、宇宙に点在する意識達の助けが必要です。

宇宙に呼びかけることが、私の大きな、大きな仕事でございます。

今世、肉を持った私の大きな仕事です。

田池留吉、アルバート、私は、これから二五〇年かけて、その仕事をしてまいります。宇宙に呼びかける喜びを、ますます大きくしてまいります。

今世の私の肉、そのことに費やしてまいります。

一八、次元移行の計画は、壮大です。宇宙に点在する意識達、その意識達とともに次元を超えていく、そんな意識の流れの計画のスケールの大きさを、私は、今、自分の心で感じ始めています。

それは、私が、これまでに感じてきたものよりも、遥かに大きいです。

同時に、宇宙を思うことが喜び、宇宙に思いを馳せることが例えようもなく嬉しい、私は、

その意味が、ようやく自分の中で明らかになってきています。

また、私という存在、己を誇るということではなく、自分という存在の大きさを、宇宙を感じるにより、次第に分かつてきています。

おそらく、それでもまだ、私自身が感じている私というものは、まだまだちっぽけだと思えます。

それは、同時に、田池留吉、アルバートという存在もまた然りです。

とにかく、私は、本当に嬉しいです。嘘みたいな話だけれど、これは現実です。なぜならば、自分の心に響いてくるからです。

私は宇宙、宇宙はひとつ、肉を持って、そうはつきりと感じられる今、今世の田池留吉の肉との出会い、二五〇年後のアルバートの肉との出会い、それが、どれだけの喜びであるのか、私には、まだまだ感じ切れていない部分が多々ある、そんな嬉しい悲鳴を上げています。

一九、私達宇宙は、あなたの思いを聞かせていただき、ただただ嬉しく感じています。あなたの目覚めを待っていた私達宇宙の喜びを、波動で伝えます。長く、長く、本当に長い時間を経て、私達宇宙の思いが実現していくこれからなんです。

心から喜んでいきます。田池留吉、アルバートのもとに、私達宇宙はひとつ、そう力強く伝えてくれることが、本当に嬉しいです。

そうです、あなたも、心で感じている通り、私達は、これから二五〇年かけて、必ず、必ず、次元移行という大きなスケールの計画を遂行していきます。

全宇宙へ発信する愛のエネルギーを、私達宇宙もともに流してまいります。

地球という星に降り立ち、宇宙に目覚めを起こしてくれた意識、私達宇宙は、あなたの大いなる仲間です。ベストパートナーとなり、これからの時を過ごしていくことでしょう。

数々の過ちは、すべて自分の中で、見つめてまいります。ともに心を見つめていけることが幸せです。

私達には、田池留吉、アルバートと呼べる喜びがありました。

私達は、そのことを、ただただ喜んで、地球人類とともに心を見てまいります。私達宇宙の喜びを、ここにお伝えします。

二〇、私の宇宙に対する思いはすごいです。すごいエネルギーで宇宙を支配してきたことを感じます。

ああしかし、このエネルギーがあればこそです。田池留吉、アルバート、私は、そんなよそらのエネルギーではありません。

ああまだまだ、私は、私を知りません。ああ、このエネルギーの大きさを、私は、私の中で見ていきます。

私は、すごいパワーの持ち主です。このブラックを、明るい光へと変えていく私の今世でした。初めは大変でした。しかし、私は、このエネルギーがとても好きなんです。愛しいんです。

このエネルギーがあるからこそ、田池留吉、アルバートの世界を歩いていきます。今こそ、私に心を向けなさいと、はつきりと言えます。

私に心を向けるということは、どういうことなのかを、私に、自分の中で証明してまいります。ブラックのエネルギーではございません。私は、明るい光です。

田池留吉、アルバート、私は、そうあなたとともに輝く光なんです。そのことを、私は、証明してまいります。

ブラックなどとは言わせはしません。

私は、これから、それを自分の中で証明してまいります。

己偉い、いえいえ、そんなものではございません。己が偉いという、次元が違います。皆さん、私をまだまだ知りません。また、私も私をまだまだ知らない。

だから、これからがとても楽しみです。

田池留吉、アルバート、出会いを本当にありがとうございます。このありがとうございますですという意味も、私は、まだよく分かっておりません。

心から、そのように思います。

これから、私は、自分のエネルギーを、よりいっそうしっかりと見てまいります。

二一、私は、必死で自分の心を見つめてまいりました。自分のエネルギーを、セミナー会場で、田池留吉、アルバートとともに感じてまいりました。

皆さんも同じだと思います。でも、私からすれば、本当に皆さんは、甘い、甘い、甘い、甘い見方をしていました。

私は、とても、じれったく思いました。今、そのじれったい思いが、どんどんどんどん出てきます。

私は、厳しい言葉を、発していきます。ああそれは、私とともに、次元移行をしてほしい、その思いが、心の底にあるからです。

しかし、それを選択するのは、それぞれです。私は、あなた方を見捨てたりはしません。厳

しい言葉を発したからといって、私は、あなた方を見捨てたりはしません。

次元を超えていきましようという私の心の底からの思いを感じられないあなた自身が、あなたに冷たい、私は、それを伝えたいのです。

あなたがあなたに冷たいんです。私が冷たいではありません。

次元移行をとにもするという思いの大きさ、その大きな愛のエネルギーを感じられないあなたの心の見方、学びの接し方、田池留吉、アルバートの学びの接し方、それが、私には、とてもじれったく思います。

じれったくて歯がゆくて仕方がありません。

私は、自分を、しっかりと見つめてまいりました。今世という時間に照準を合わせて、しっかりと見つめてまいりました。

あなた方が、これから、どれだけ転生をしていくか知りません。

しかし、その中で、どれだけ自分を厳しく見つめていけるか、今のあなた方、自分に答えてください。

私は、波動で、皆さんにメッセージを送っています。

私の思いは、厳しくはありません。私の思いは、優しいです。

私の思いを感じている人は、どれだけいるでしょうか。

厳しい、冷たい、見捨てられた、そう言い放つそのあなたの心を見ていってください。

二二二、二五〇年後に出会う意識達の喜びを、心に感じます。はい、そちらのほうに、もっと、もっと思いを向けていきます。

私はまだ出会えていない仲間達の存在を心に感じ、私は、とても嬉しいです。

田池留吉、アルバートの道を真つ直ぐに突き進む私の前に、あなた達は現れるのです。ともにもまいりましょう、そうやって、私達は歩みをともしてまいります。

二五〇年後出会う仲間達、私は、とても嬉しいです。肉を持つ、持たないは関係がありません。私達は、二五〇年後に照準を合わせ、そこへ意識を集中していく時、そこに次元移行へ思いを向けていく意識達との出会いを感じ、それが私には、とても楽しみです。

次元を超えていく喜び、その喜びが私の中に、確実に大きく、大きくなっています。私の目の前に広がる道、その道が、大きく、太くなつていくのを感じます。

この道が、私の中で見えている、感じている、はっきりとその道を歩いている、それが私には、幸せなんです。

何はなくともこの思いがあります。心を向ければ私は、その世界にあります。

確実に広がっていく世界、田池留吉、アルバート、肉を持ち、このように感じている今、本当に幸せだと思います。

なぜならば、自分の本質に突き進んでいく私を感じるからです。

もともとあつた姿に帰っていく道、心に深く、広く、強く、大きな喜びを伴い、それを感じます。

また、その他の肉のことは、軽くタッチしていただくだけです。それですべてが計画通りに進んでいくなんて、肉も幸せでないはずはありません。

今、そのように感じます。意識の世界の素晴らしさ、意識の世界の大きさ、意識の世界の喜び、意識の世界の幸せ、温かみ、何と言葉にしてもいいかわかりません。

私は、今世のこの自分の世界がこれから永遠に続いていくことを知りました。本当に、今世の肉よ、ありがとう。来世の肉も、ともに喜んでいきます。

来世の肉は、さらに大きな、大きな意味を持ちます。肉がなければ、真実を発信していくことができない、その大切な役目を担わせていただくことが、また私にはひとつの喜びです。ありがとう。ただただありがとう、そんな思いでいっぱいです。

二三、地球人類として肉を持った意識達は、ブラックがブラックのまま、我に心向けよとや

ってきたのです。

ブラックがブラックのまま、心を向けさせようとしてきたから、その思いを広げれば広げるほど、自滅していききました。

そして、今世です。田池留吉という肉が開催してきたセミナーの時間と空間の中で、ブラックのままでは、どうしようもないことを学ぶ計画を立てました。

見事、その計画は成功しました。田池留吉、アルバートの意識が、私達宇宙の仲間との出会いを果たしてくれました。

出会いがなければ、田池留吉、アルバートの意識は、肉を持たなくてもよかったです。肉を持つ必要などなかったんです。

その意識が肉を持つということは、必ず、この出会いがある、そして、出会いがあつて、必ず目覚めがある、そういう流れになっていました。

ところで、ブラックがブラックのまま、我に心を向けよというのは、言うまでもなく、自分を肉だとする基盤のまま、我の世界に心を向けよということなんです。

ブラックが背景にあるのだから、そこに心を向けよと言われて映る世界は、まさしくブラックです。

ブラックがブラックに心を向けよと言って、そこから光溢れる世界など感じられるはずが

ありません。

一方、本当の温もり、本当の優しさが背景にあつて、心を向けなさいと言われて映る世界のブラックはブラックでも、全く違います。

心を向けていけばいくほどに、そのブラックに変化が表れていくのです。言うなれば、それがあなた方が、自己供養と呼んでいるものです。

今、私達は、私達の仲間から心を向けなさいと呼びかけられています。

どんどんどんどん心を向けています。

心を向けていって、私達に伝わってくるものは、優しさ、温かい思い、そして、力強い思いです。ありがとうございますと伝わってきます。

私達は、そのようにして、今、あなた方の言うところの自己供養というものをやっています。私達は、肉を持っていないから、その分速いのです。

どんどん自分を受け入れていくことをやっています。

仲間が伝えてくれるのです。私とともに、壮大な計画を遂行していきましよう。

私達は、今、その呼びかけに素直に応じています。

仲間から、田池留吉、アルバートの波動を伝えていただいています。

ただただ嬉しい、もっと心を向けていきたい、仲間とともに、もっと心を向けていこうと

している私達です。

二四、私の中の宇宙、もちろん宇宙を支配してきた大きなエネルギーのひとつに、アマテラスがありました。

そのアマテラスが真実の自分の姿に目覚めることが、意識の流れのひとつの計画でした。

だから、田池留吉、アルバートの意識が肉を持ったのも日本の国、真実へ繋がる学びを開いたのも日本の国、アマテラスの国でした。

そして、その中で、まず宇宙を支配してきたエネルギーのひとつとして、アマテラスが計画通り目覚めました。

そして、私の中には、まだまだ宇宙を制覇してきたエネルギーがたくさんあります。

まずはアマテラス、そして、そこから、私は、どんどんまだまだ大きなエネルギーを目覚めさせていきます。それが私の計画です。

宇宙は、さらに喜びを大きく広げていくのです。

宇宙を支配してきたエネルギーは、アマテラスだけではないことを伝えます。

私達は、その宇宙のエネルギーとともに、次元を超えていく計画を、淡々と遂行していきます。

まさに、宇宙とともに私はありました。それが、田池留吉、アルバートの意識との出会いにより、私の中で確信に確信を重ねることができ、私には例えようもないほどの喜びです。

自分を感じられる、つまり宇宙を感じられることが、本当に嬉しいです。

宇宙の喜びを、そう、これからの時間を経て、地球人類の多くの人達に伝えていきます。

私達は喜びなんだ、あなた達も喜びなんだ、そうやって、意識と意識の喜びの交流が、これから繰り返し広げられていく、私達は、そのように今、伝えたいと思います。

二五、私を肉として見ないください。田池留吉という存在が、セミナー会場で田池留吉ではなくなるのと同様に、私もまた、セミナー会場では、私でない私を余すところなく表してまいります。

私の肉、そして私の意識の世界、そこへ思いを向けることを拒否するとうか、私を無視して真実の世界は、到底感じることはできないと、今、もうはつきりとお伝えしたいと思います。

田池留吉、アルバートは受け入れられるが、私はダメという思いはどんな世界なのでしょうか。

私は、田池留吉、アルバートとひとつだと伝えていきます。

私を否定することは、田池留吉、アルバートを否定すること、そして真実の世界に全く心を向けることはできないと、私は、お伝えしたいと思います。

何を証拠に…、それは、これから、それぞれの心の心の中で、自分自身が証明していくでしょう。苦しみの奥底に沈んで、そこから這い上がってくるができない現実があります。

私は、恐怖を植えつけようとしているのではありません。

真実の世界、田池留吉、アルバートの波動の世界と似て非なる世界を、まだまだしっかりと握っておられる人達もいるでしょう。それは、それぞれの自由です。しかし、私は、同じ軌道の上で学んでいただきたい、学んでいきましょようと、何度も呼びかけています。

それは、私は、真実の世界を、本当に、今、自分の心で感じているからです。

波動の世界は、誤魔化しは利きません。似て非なるものではダメなのです。

私は、そのところを、もっと、それぞれの心でしっかりと学んでいただきたいと言わざるを得ません。

しかし、それも、本当は、どうでもいいことなんです。

なぜならば、真実へ続く道、次元移行の計画は、もうすでに、私達宇宙とともに、粛々と進められているからです。

私は、宇宙に思いを向けていくだけです。

もうあまり、枝葉のことには、心をとらわれず、ただ真つ直ぐに、自分の未来、宇宙とともに広がっていく幸せな未来へ思いを馳せていくだけです。

時がくれば、今のこの肉も脱ぎ捨てます。私は、そして、本当に自分と自分の中で、ただひたすらに真実に向かって歩いていくということです。

その喜びと幸せに湧きかえっている私の世界です。

二六、今、学びは、どんどん進化しています。そして、私もまた、どんどん進化しています。

自分の存在、自分の仕事をはつきりと自覚しつつあります。

私は、宇宙とともにあります。それだけが私の中の真実です。

その宇宙、すなわち、私自身とともに生きる喜びと幸せを、今世の肉を通して、自分に伝えました。

田池留吉、アルバート、今を生きる喜びを、数限りない自分の過去より、そして喜び溢れる未来より、私は、私に教えてくれています。

こんな嬉しいことはありません。

宇宙に思いを馳せること、制覇してきた宇宙に思いを馳せ、そして、その宇宙と語ること、それが叶えられた今、私は、本当に幸せ者です。

二七、今、私は、このようにしてメッセージを送れることが喜びです。

息もできないほどの苦しみの中から、這い上がり蘇ってきた私自身です。私の中の宇宙に、思いをしつかりと向けようと、私は、田池留吉のセミナーに集ってきました。

その道のりは、本当に何の狂いもないほど正確でした。

最短距離にて、真実の世界を知り、そして、来世の肉は、さらにその世界を広げていく計画です。

宇宙を知っていく計画は、本当に壮大なものです。

宇宙を知っていく、それが私の自己供養、本当に大きな喜びを伴う自己供養の機会を、自らに用意してきたことに感謝です。

地獄の奥底の底から蘇ってきた宇宙の意識、今、ようやく、はつきりと我が行く道を伝えることができます。

宇宙、大いなる宇宙、私とともに歩みを進めてくれている宇宙に、本当に優しい思いを向

けていくことができます。

こんなに幸せであつていいのか、肉を持ちながら、喜びの世界を味わっています。

すべての意識達に発信していく思いでいます。

ただ、その思いを受けていってくださるかどうかは、それぞれの問題です。

しかし、私は、宇宙の法則、決して侵すことのできない法を、私達宇宙とともに、これからしっかりと発信していきます。

それが私の喜びだからです。それが私だからです。私を宇宙に流す、本当に壮大な計画のもとにあつたことを感じ、それを全く知らずに、地獄の奥底に沈んでしまっていた自分に対して、今は、ただただ申し訳ない思いでいっぱいです。

そして、だからこそ、これから、私は、さらに自分を大きく広げていきます。宇宙が変わっていく様を、喜びで感じていける、ただただ喜びです。

二八、私達宇宙は、二五〇年後、そして次元移行に照準を合わせています。

今世ではないのです。

二五〇年後に出会う意識達に照準を合わせて、今、粛々とその準備を整えています。

その最たるものが、宇宙に思いを向ける作業です。これからの時間、次元移行を遂行していくために、宇宙というものが、本当に大きな役割を担います。

もちろん、今世は、非常に大切な時間です。

それは、二五〇年後に再び、肉を持って、宇宙に向けて真実を発信していくための予習の時間だからです。

すべては、二五〇年後、次元移行を見据えてのことです。

私には、それが痛いほど感じられます。

次元移行へ向けて、すべてが動き出している今、もう私は、そのことだけに思いを集中していきます。

宇宙とともに次元を超えていく計画のもとでは、色々なものが自然淘汰されていきます。それが意識の流れ、私は、その流れとともに、これからもずっと存在していくだけです。

本当に、意識の流れを感じ、次元移行を感じているというならば、私の言わんとするところは、それぞれの心にストレートに響いていくでしょう。

それが波動です。私は、次元移行を心で感じています。ただそれだけ、その思いが、これからも、はつきりと物申していきます。

照準は、二五〇年後、そして、次元移行です。

二九、肉の喜びとは何ですか。肉の幸せとは何ですか。

私達肉を持たない意識にとつて、それは分かりません。

私達は肉を持たずとも、このように語っています。私達の思いを伝えることができます。

私達には、肉などというものは要りません。自分達の思いを語り、知っていくのに、肉など持たずともできることを、あなた達に伝えていきます。

しかし、地球人類は肉を持っています。いいえ、肉があるから地球人類ということでしょう。そして、現に、肉というものを持っているあなた達には、その肉というものが必要だったはずですよ。だからこそ、もともと肉など持たないあなた達が、自分達に肉というものを持たせた、そのところの意味を、もつと真剣に考えるべきではありませんか。

私達とあなた方との違つところは、肉があるかないかだけです。肉を持っているあなた達と、持っていない私達、その私達の境界というか、壁を突破して、私達に、今、語りかけてくれる存在があります。

私達は、ただただそのことを喜んでいきます。私達は喜んでいただけです。

暗黒の宇宙を目覚めさせるのは、この喜びだけですと伝えていただきました。

「喜びのエネルギー、そのパワーが宇宙を目覚めさせ、その喜びが、地球人類に返っていき

ます。その喜びのうねりを起こすために、私は、この地球上に何度も、何度も肉を持ってきました。そして、ようやく、その約束を果たす時期がやってきたのです。だから、どうぞ、私の思いを受けていってください。」

私達は、そのように伝えていただきました。

この地球に、田池留吉、アルバートの意識が降り立ってくれた喜びを、切々と伝えてくれました。

肉の私には、到底計り知れない私があるんですとも語ってくれました。

そして、肉を持った私が、肉を持たないあなた達に、今、真実を伝えていけることが、喜びですと流してくれました。

私達は、その思い、その波動を素直に受け止めて、約束通り、私達もまた、喜びのエネルギーを地球という星に流してまいります。

どうぞ、あなた達も、私達の思いを、素直に受け止めていってください。

三〇、私の意識は、田池留吉、アルバートの意識とともに次元を超えていきます。そして、今、次元を超えた私達が、ここに語ります。私達の波動をお伝えします。

私達がお伝えできるのは、この喜びのエネルギーだけです。次元移行、はい、次元を超えた私達は、喜びのエネルギーを伝えていくのです。

言葉ではなく、このエネルギーを伝えてまいります。

大きなエネルギー、喜びのエネルギーを伝えていけることが感じられます。次元移行をした先の私達を、今、心で感じていきます。

この喜びの波動を流していけることが、心に伝わってきます。嬉しいです。アルバート、ありがとうございます。

そして、次元を超えた私達は、宇宙とともにあります。その宇宙もまた語ってくれました。

もっと、もっと、宇宙に心に向けていってください。

私達は、どんどん心を語ります。未来を語ります。私達宇宙が語るのです。心に向けていってください。喜びの思いを語らせていただきます。

そう、心に向けていください。

完全にひとつの世界から、波動を伝えていける喜びです。宇宙とひとつなんです。次元を超えていった私達はひとつ、本当にひとつなんです。

その喜びの思いを、ただただ伝えてまいります。

これが私達の喜びです。私達宇宙の喜びです。私達宇宙は喜びです。ただただその思いを伝えてまいります。

心をもっと、もっと、大きく広げていってください。

心は、もっと、もっと大きいんですよ。本当に大きいんですよ。これから、どんどん語っていきます。私達に、どうぞ、心に向けていきなさい。

三一、喜び溢れる未来、喜び溢れる世界から、その波動が伝わってきます。響いてきます。

ああ、次元を超えて存在する世界、私達は、ここからただただ喜びのエネルギーを発信していくのだと感じます。

肉はまだ地球にあっても、次元を超えた意識の世界から、どんどんメッセージを発信していく、それが私達宇宙の計画でした。

私は、私の仲間達、肉を持たない宇宙の意識達とともに、二五〇年後の来世、アルバートの肉との出会いから時を移さずに、次元移行の喜びのメッセージを、発信していきます。

本当に宇宙とともに、喜びのエネルギーを流し続けていけるのです。

次元を超えた私達から流れるものは、ただただ喜びです。

その喜びのエネルギーが、およそ五十年の時間の中で、次から次へと目覚めを促していくのです。地球を含む暗黒の宇宙に喜びのエネルギーを流してまいります。

次元を超えていく意識、そうでない意識、確かに存在していくでしょう。そうして、私達は、さらなる宇宙、さらなる真実を目指していきます。

三三、私の中は、大喜びです。宇宙に向けるセミナーがよいよ始まりです。

次元を越えた私達の喜びを、私はこの肉を通してお伝えしたいです。

例えば、十年ほど前に、田池留吉のもとに、私は、たった一言、UFOが語ってくるのか、そういうメールを送信した時に、時期尚早というふうに言われたことを思い出します。

機が熟していないというふうな感触を受けました。

当時は、私自身も、よく分からなかったし、そうかと受け止めていました。それでもこれまでに、ホームページを通して、宇宙に向ける勉強を、私自身はさせていただいていました。母なる宇宙とともにという本も出版させてもらいました。

これから、本格的に、いよいよという感じですが。解禁だという感じですが。

私は、ただただ嬉しいのです。心置きなく宇宙を語ることができる今、私の中は、どんどん解き放たれていくでしょう。

大いなる宇宙の意識に心を向ける、そんな喜びの時間をいただけることが嬉しいのです。宇宙を感じていけることこそが喜びです。なぜならば、それが私達だからです。

セミナーが、本格的にその方向を向いて進んでいくことに、たまらない喜びを感じます。

私達宇宙、^{こそ}挙ってセミナーに参加させていただきます。宇宙からの喜びの波動をお伝えしたいです。

三三、私達宇宙の世界にようこそ、そうお伝えしたいです。

ああとても嬉しいのです。心に向けていただけることがとても嬉しいのです。

私達の波動の世界を、どうぞ、存分に感じてみてください。心から喜び、喜びをお伝えしたいです。

地球人類達の苦しみ、悲しみ、そのようなものを、どうぞ、どうぞ、その心から解き放してってください。

私達宇宙とともに、次元を超えていく時の喜びを、一人でも多くの人に味わっていただき

たい、私達は、そのように思います。

心の中にあるのは喜び、そのようにお伝えしています。

そうです、どんなことも喜びです。

あなた達は、心の中に色々な体験があります。その思いが、すべて、喜び、喜びと、どうぞ、本当に心から思えるまで、しっかりと心を見つめてみてください。私達宇宙は、心よりお待ちしています。

たくさん宇宙達が、集合してきます。そして、どの宇宙達も、すべてが喜びです。おびただ 夥しいほどの宇宙達が、心を見つめ、大きなうねりへと変わっていくこれからです。

三四、**真実の世界を心で感じる**ことのできるセミナー、これは唯一、今あなた方が学んでいるその時間と空間、それだけです。

田池留吉という肉が開いてきたセミナー、その中にこそ、私達宇宙とともに語り合える時間と空間がありました。

このことは、あなた達それぞれが、それぞれの心で感じていただかなければ、分からないことです。

そのためには、まずはお母さんの温もりを、それぞれの心に蘇らせてくださいと、田池留吉は伝えました。

お母さんの温もりを、心にしっかりと確立していること、そして、お母さんの温もりが分かれば、田池留吉、アルバートの方向に心を向けることができます。

そうした時、私達宇宙の思いが、心に広がっていくのです。
すべては波動の世界です。

このことは、もう皆さん、よく分かっておられると思います。

それがこれから、さらにはつきりとしてきます。明暗がはつきりと分かれてくるのです。心で感じる世界です。私達宇宙を心で感じていってください。

三五、目を閉じて、ふっと思いを向ければ通じる世界、宇宙がありました。喜びの宇宙がありました。本当に嬉しいです。

嬉しくて、嬉しくて、仕方がありません。私は、この世界を待っていたんです。心から、この世界を待っていたんです。ともに、ともに帰ろうと言ってくれた宇宙、私の中にありました。そして、私は、今、その喜びをお伝えしている、そんな状態です。

私は、これから、大きく、大きく、心を広げてまいります。

どの人も、どの人も、私の仲間です。目に見えない世界を伝えていくことは、とても難しいです。たとえ、この学びに今世繋がってこなかった人達も、私にとっては、愛しい、愛しい仲間なのです。

皆さん、どうぞ、心に向けてください。宇宙に、心に向けてください。私は、これからも、その喜びのエネルギーを発信してまいります。

田池留吉、アルバート、私は、あなたとひとつになって、この喜びのエネルギーを発信していきます。そのことを、ようやく、今世、自覚するに至りました。今、私の意識の世界は、大きく変わっていています。

それがこの肉にも伝わってきます。ふつと目を閉じ、思いを向けると、このように喜びが心から溢れてくるのを感じます。

これが私でした。私は宇宙でした。私は喜びでした。そのようにはっきりとお伝えできることが、とても嬉しいです。

ありがとうございます。今世の時間をありがとうございます。そして、来世の時間、アルバート、あなたとともに歩いていく時間を、本当にありがとうございます。

宇宙を目指し、歩いてまいります。たくさんの宇宙を心に抱え、私は喜びで歩いてまいります。

お母さん、ありがとう。

母なる宇宙へ帰りたい、その願いを心から待っていてくれた母の意識に、今、ありがとう、思いを伝えさせていただいています。

三六、もうすぐ、アメリカの地から、私達の仲間から喜びを発信してくれます。

どうぞ、今世、アメリカの地に渡り、この学びに触れた人達、そしてその仲間達、私達に思いを向けていってください。

私達が、二五〇年後、喜びのエネルギーを爆発させる場所、それがアメリカの地です。

私達宇宙は、今、その準備を着々と整えています。

今世の仕事を終えて、二五〇年後の仕事に向けて、宇宙一体となって、壮大な仕事をしていきます。

波動の世界こそがすべてです。

私は、今世の肉を持ち、本当に喜び、幸せの道を一步、一步、着実に歩いています。それは言うまでもなく、私達宇宙にとって、大きな、大きな仕事があるからです。

宇宙に向けて、この喜びの思いを発信していく、その喜び、幸せな道を、どうぞ、あなたも、

そして、あなたも歩いてまいりましょう。

宇宙、大いなる宇宙、そこへ心を向けることが、どれだけの喜びであるのか、私は、本当にそれだけをお伝えしたいのです。

私の意識の世界は、もうすでに宇宙、大いなる喜びの宇宙と一体となっていると言っているいでしょ。

その喜びを、このようにして肉を通してお伝えできること、ただただ幸せです。

どうぞ、心を見てください。そして、どうぞ、瞑想をしてください。

私達は、もうすでに二五〇年後、そして次元移行、そのまた先を見据えています。

私達とともに心を向けていってください。

三七、私達は、どんどん喜びのエネルギーを発信していきます。

今世の時間を通して、私達宇宙は、喜びのエネルギーを発信していくのです。その私達の喜びのエネルギーに反応していつててください。

学びに集っている人達はもちろんのこと、そうでない人達、そして、宇宙全体がこの喜びのエネルギーに反応していくこれからです。

しかし、学びに集って来たからといって、心を見ずに、瞑想もせず、肉、肉の生活に埋もれていく意識達は、自らを見捨てていきます。私達は、そうお伝えします。これは、侵すことのできない宇宙の法則です。

その法を、自分達の思いで歪め、傷つけ、曲げてしまったのは、あなた達の醜い、醜い無知なる心です。その思いを、ご自分の心を見ることによって、しっかりと見つめていってください。

真実の波動の世界は、厳しいです。

他方のエネルギーに埋もれてしまった意識達は、どこまでも、いつまでも、自分に、とても、とても甘いのです。

それをすべて、人のせい、何かのせいと、すべて外にエネルギーを向けてしまいます。

その繰り返しを、いつまで続けていくのでしょうか。

もう、学びは、宇宙に向けて、二五〇年後に向けて、次元移行に向けて、そして、その先へ向けて、どんどんどんどん進んでいます。

この流れを、どうぞ、心で感じていってください。

焦ることは要らないけれど、真摯な思いで、自分を見つめていく、そんな時間を、本当に、本当に、大切にしてください。

三八、私は、喜びを発信するエネルギーです。

この思いが、心の中から自然と湧き出てきます。私の中が、急速に変わっていくことを感じています。

おそらく、宇宙に思いを向けた私の中から、さらにストレートに思いが飛び出ていく、つまり私の中は、本当に自由に伸び伸びと真実の世界を語れる嬉しさが、増していつているのだと思います。

田池留吉、アルバートの意識とひとつになって、宇宙に思いを向けていける喜びが、何とも言えないのです。

今世の時間、日本の国において、真実の世界を学んだ私達は、二五〇年後の来世、アメリカの地で、最終の学びをしてまいります。これは、もう手はず通りです。

今、アメリカの地に思いを向けていくと、やはり、私達が来世、出会うあの場所を中心にして、宇宙の意識達が集合してくることを感じます。

たくさん UFO 達、たくさん宇宙、その意識達の思いが、もう今か、今かと待ち構えているような、そんな嬉しい思いを感じます。

意識の世界に真実が伝わるスピードは、格段に速いです。

それほど、愛を伝えるエネルギーの強さが増している、宇宙がこれからそれを証明していきます。

肉を持つ意識達、そして、肉を持ったがゆえに、そこから自分を解き放つことができない意識達の哀れさを、宇宙が教えてくれるこれからです。

そして、その思いを、どれだけの人達が、素直に受け止めていくことができるか、それがこれからの明暗になってきます。

三九、私、核がこれから動き出します。私から、確かなる波動の世界を発信してまいります。

田池留吉、アルバートのもとにひとつとひとつという確かな喜びのエネルギーを、発信してまいります。

核としての役目を、私は、果たしてまいります。

心から、ありがとうと、私達宇宙の思いを、私は、しっかりと伝えていきます。この喜びの波動を、どうぞ、受けていってください。

今世、田池留吉のセミナーに集ってきた人達、私は、その意識達の世界に伝えてまいります。

私達宇宙はひとつです。大きな、大きな仕事をしていくために、私、核は、これから、喜びの発信をさらにしてまいります。

その準備を、私は、丁寧にこれまで自分の中で進めてまいりました。

ようやく、その準備が整った今現在です。

宇宙に思いを向ける時、私の中の思いは、喜び溢れていくのが分かります。宇宙を待つていました。私は、宇宙の波動に触れています。

宇宙の波動、喜びの波動、喜びのエネルギーに触れています。

次元を超えていくことを、確かなるものとして、私は、意識の世界を伝えたいと思います。

田池留吉、アルバートとの約束、私との約束、すべてとの約束、私は、果たしてまいります。

どうぞ、心に向けていってください。田池留吉、アルバートに、宇宙に、核に、すべてはひとつでございます。

肉の段階で留まっています、私の申し上げること、私の伝えること、全く別世界のことです。その中で、苦しみ喘いでいくのが、私には、感じられます。

だから、どうぞ、今、その中から自分自身を解き放していけるような、そんなあなたになつていってください。すべての意識に発信してまいります。

四〇、私は、すでに伝えていきます。もう一度、伝えます。

私を無視したり、私を否定したりしては、真実の世界は、決して感じることはできないのです。

私の言わんとするところ、お分かりでしょうか。

私から流れる波動は、己偉しのエネルギーではありません。そんな低次元のものではないのです。

私は、宇宙だと言っています。宇宙は法なのです。決して侵すことができない法、このことは、肉の次元からは、決して推し量ることができないものです。

私達宇宙には、次元移行をしていく大きな仕事があります。宇宙一体となって、次元を超えていく流れが、厳然とあるのです。

その流れの中の田池留吉、アルバート、核という存在、それは、到底肉の次元からは理解などできません。

無視したり、否定したり、ましてや競争するなど、もつてのほかです。

しかし、そうされたからといって、私には、別に何も影響はありません。影響があるのは、そのような低次元に留まっている意識なのです。

私は、ただそのことを伝えているだけです。

素直になっていってください。素直になっていけば、このメッセージが、どういう意味なのか、心で分かっていただけだと思います。

真実の世界に、少しでも心に向けていくには、素直さが何より大切です。

かつて、チャネラーが乱立してきた群雄割拠の時期があったようですが、その意識のままでは、私達と歩みをとるにできないことをお伝えしておきます。

四一、証明していくのは、それぞれの心の世界です。それぞれの心の世界が証明していくこれからの時を、どうぞ喜びで迎えていってください。

宇宙に思いを向けることは喜びです。私は、何度も、そのようにお伝えしてきました。

これからも、それだけを伝えていきます。私達の目覚めが、さらなる目覚めを呼び起こしていきます。

私達宇宙は、喜びですとそのような喜びの波動が流れていく、それが喜びです。大きなうねりとなって、この地球を含む宇宙が変わっていく様を、私は、心の底から喜んでいきます。

私の存在を、本当に証明してくださる人達が現れてきます。私は、そのことを嬉しく眺め

ています。

田池留吉、アルバートのもとにひとつ、私は、そのことを伝え続けてきました。

ようやく私の思いを証明してくださる人達が出てくること、それが喜びで、喜びで、私は、仕方がありません。

宇宙を感じることに喜び、私を感じてくれることに喜び、ブラックはすべて喜び、喜びへと変わっていくこれから、私は、今、そのようにお伝えします。

どうぞ、皆さん、心を見てください。心を見て、そしてともに歩みを進めてまいりましょう。肉を持たない意識達は、本当に素直です。格段に速いスピードで、私達のもとに心に向けてくれます。

宇宙、その喜びのエネルギーを、これからもどんどん伝えてまいります。

四二、本来、私達は、喜びのエネルギーなのです。存在そのものが喜びなのです。

私は、今、そのことを、自分の中ではつきりと感じています。

私は、仕事をしています。存在そのものが喜びだと知った私は、ただ思えばいいのです。それで仕事ができるのです。

すごいと思いました。波動の世界、喜びのパワーはすごいと感じています。

皆さんが、それぞれのバージョンをアップしてくれなければ、私は分りません。私が、田池留吉、アルバートの世界の奥深くをお伝えしようとしても、それを受け止めてくれるレベルでなければならぬことを、今、それぞれの心の体験を通して、学んでいつているのだと思います。

私の思いは、ただひとつです。真実の世界により近づいていくこと、そのために、私達は、次元を超えていくという壮大な計画を立てました。私は、それを発信するために、今世の肉を持ち、来世の肉を持ちます。

宇宙は、私の愛し子です。宇宙が変わっていくことが、何よりの幸せ、何よりの喜びです。私は、今世の肉を通して、自分の姿を段々に知っていく道筋にあります。私は、私自身の勉強の中で、私を感じていきます。私は、さらに心を広げていきます。ともに、喜び、喜びの波動の世界を広げてまいります。

四三、心を開いていきましょう、しっかりと心を見ていきましょう。

私田池留吉、アルバート、そして、宇宙、私達は、ともにひとつの世界を目指しています。今、

私、核からそのようにお伝えします。

宇宙からの思いを、私は、お伝えしています。

心を、大きく、大きく開いていきましょう。喜びのエネルギーをどんどん伝えてまいります。心を閉ざすのはあなたです。心を開いていくのもあなたです。

どうぞ、私達の思いを受けていってください。私達は、待っています。心よりお待ちしております。喜びがあなた、あなたは喜びです。

喜び溢れるあなたが、本当のあなたです。そのことを、これからの時を経て、それぞれが学んでいってください。

田池留吉、アルバートの宇宙を思い起こす時、心の中に喜びが広がっていきます。

どんどん心を語る私があります。宇宙、それは喜びの世界、アルバート、アルバートの喜びの世界、波動の世界です。

心の中には何もありません。ただただ広がっていく空間、ただただ広がっていく喜びの世界、その中に私達はひとつになつていく、そんな喜びが広がっていきます。

言葉ではないのです。波動の世界です。どうぞ、波動の世界を感じていってください。心

の中よりお伝えします。私達の思いを受けていってください。

母なる宇宙に思いを向けていけば、喜び溢れる世界を心に感じる事ができます。そして、心を大きくしていきなさいと伝わってきます。

私は、私の中で、この思いをどんどん見つめてまいります。

いずれ、心の中で分かったことを、肉を通し、喜びとして、波動としてお伝えしていきます。心と心の交信をしていく宇宙、その中で、私は、このように存在しています。宇宙、大いなる宇宙、それは喜びです。

四四、心を解き放していくために、これからの時間を要します。天変地異とともに、地球人類が進んでいく道は、心の解放です。

私達宇宙が、その一翼を担います。もちろん、これから、私達宇宙からのエネルギーが、どんどんどんどん噴出していきます。

ともに、歩みを進めていこう、そんなメッセージを私達は、今、肉を持つ意識達に呼びかけています。

大いなる計画です。本当に、喜び、喜びのエネルギーが地球に降り注ぎ、宇宙とともに歩

みを進めてくれる意識達に、これからの時をかけて目覚めを起こしていくのです。

私は、このようにして、今、肉を通してお伝えできることが、ただただ嬉しいです。

宇宙には、真実の波動だけが存在します。真実の波動、喜びのエネルギーが仕事をしていく様を心に感じ、その喜びのエネルギーが、私に返ってきます。そして、その喜びは、私の中で、増殖していき、さらに、私の中から、喜びのエネルギーを大きくして宇宙に流していく、そんな喜びの循環に、この宇宙が満たされていく、それが私の喜びでした。

私達宇宙の喜びは、本当にひとつになって、大きく広く、どこまでも広がっていく、私は、その世界にあることを感じます。

四五、 イメージ的に言えば、両翼を広げていく、そんな状態を感じています。

もちろん、波動の世界には、限りがありません。

すべてを包み込み、ともに大きく羽ばたいていくところから、そう表現しました。

思いは、意識は、そんなちつぽけな世界ではありません。

心の中に広がっていく世界は、どんな言葉でも言い尽くせないです。

日本語ならば、さしずめ、ありがとう、嬉しい、喜び、幸せ、そんな簡単な文言です。

しかし、それも、私達の思いを満足に表現できるものではありません。

だから、私達は異語を語ります。異語は、別名、宇宙語と言ってもいいかもしれません。異語で、どんな意識達とも通じ合うのです。

ただし、田池留吉とは何か、アルバートとは何か、それぞれの心で理解している程度により、もちろん、通じる度合いは違ってきます。

ところで、どうでしょうか。あなたは、私達宇宙に、心を向けてくれていますか。私達宇宙に思いを向けていただければ、あなたから、どんな異語が、自然に飛び出てくるはずですよ。

そうやって、私達宇宙に思いを向けていく時間を、どんどん持つていってください。宇宙に思いを向けて苦しくなったり、狂いそうになったりするものは、すべてあなたが原因です。

私達宇宙の思いは、すでに喜び、喜びの域に達しています。

思いを向ければ向けるほど、私達の喜びが伝わってくる、もうそんな時期なのです。

地球に降り立った意識の目覚め、そして、そこから、どんどん私達は、交信をしています。

喜びの世界に、どうぞ、あなたも、そしてあなたも、心を向けていってください。

四六、私の意識の世界は、どんどんどんどん広がっていくでしょう。心の中に喜びが溢れていきます。こうして、目を閉じて、田池留吉に心を向ける時、田池留吉、アルバートが私に伝えていきます。

そうです、心を広げていく、それだけです。心の中にある喜びの思いを、どんどんどんどん出していくのです。

大きな、大きな喜びが、まだまだ待っています。

心の中に、田池留吉、アルバートを呼んでみてください。

もう少し、もう少し、しつかりと呼んでみてください。

私、田池留吉は、あなたの中で、ずっと、ずっと応えています。

宇宙が喜びを大きく、大きく表していく時、あなたの姿も大きく、大きくなっていきます。

それが意識の世界です。私達はひとつ、ひとつに繋がっていくこれからの、もう少し、そして、もっと、もっと、しつかりと感じていってください。

ありがとうございます。いついつまでもありがとうございます。

田池留吉、私の思いは、もう本当に広がっているのです。二五〇年後はもちろんのこと、その先も、ずっと、ずっとあなたを思っています。

私達を待っているアメリカの意識達に、私達の思いを、もっと、もっと伝えたいです。そのため、アメリカに喜びの発信をしてくれる仲間がいてくれる、私は、喜びで、嬉しい思いで眺めています。

どんどん心を、大きくしていつてください。アメリカがひとつにまとまって、私達の思いを、もっと全面的に受けてくれることを待っています。

アメリカは、私達が喜びを爆発させる場所でございます。

今、私は、その思いをアメリカに向けております。宇宙全体が向けています。

この日本の国を愛したと同時に、アメリカの国も、私達にとって、とても大切な場所です。アメリカの国も、形は、これから滅びてまいります。

ああしかし、私達の意識は、私達の思いは、そこへ向いています。

そこへ、そこから私達はこの喜びの思いを発信していきます。

ありがとうございます。

心の中に田池留吉、アルバートを、どんどんどんどん呼んでくれる意識達を、私達は、ただただ待っています。

本当に嬉しいです。

この学びに集ってきた人達も、もっと、もっと、心を田池留吉、アルバートに向けてくれ

たらしいのになあ、私は、そんな日がいつの日にか、来るのを待っています。

ああでもないいんです。二五〇年後、私達が出会う仲間達は、もうすでにあの場所集っています。宇宙を感じている私の中には、もう何もありません。ただただ、田池留吉、アルバートを思っていただけです。

心が広がっていきます。お母さんの宇宙へ帰っていく、私の中に、ただただ喜びが広がっていきます。

四七、私達は、すべての意識達に向けて、発信しています。

真実の世界を、喜びの波動で、喜びのエネルギーで、発信しています。

もう私達の意識の世界には、二五〇年後はもちろんのこと、次元移行も、そして次元を超えた後も、きちんと計画されています。

これからの時間が、そのことを、様々な現象を通して、証明してくれるようになっていきます。私達は、すでに、喜びの布石をしっかりと打ちました。

宇宙と一体となって進んでいく道筋は、しっかりとついています。

その道筋を、喜びながら、歩みを進めていくだけの運びとなっています。

それは、もうそれぞれの歩みにかかっています。

しつかりと定められた道を、喜びながら歩いていくだけだから、簡単なはずですよ。

地球人類は、本当に幸せな存在です。母の意識から、何度も、何度も温もりを伝えてもらってきたあなた達ほど、幸せな存在はありません。

宇宙のどこを探しても、あなた達ほどの幸せなものはない、私達は、しみじみそうお伝えします。

四八、私達が、来世肉を持つアメリカの地に思いを向けていますが、私が向けているのは、そこに肉を持つ意識達だけではないのです。

私は、主に、そう肉を持たない意識達、そう宇宙です。宇宙に思いを向けています。

二五〇年後、私達が出会う宇宙、その意識達の喜びを、私は、もっと、もっと伝えたいんです。肉を持ってしまうと、皆さんも分かるように、私達の喜びは、萎んでしまうんです。しかし、二五〇年後、私達が出会う喜びの意識達は、その喜びを私達にストレートに伝えてくれます。

私は、そのことを、もうすでに心でキャッチしています。だから、私は、そのことを、もっと、

もつと伝えたいんです。

私は、二五〇年後、アメリカの地において、もちろん、たくさんの人達に、真実を伝えていきます。喜びのエネルギーで発信してまいります。

ああでも、それよりも、もつと、もつと、宇宙に向けて、私は、発信していく喜び、この喜びをもつと、もつと、もつと、もつと伝えたい。

今、その思いでいっぱいです。私の中に喜びが溢れていきます。

宇宙を感じる時、私は、本当に、喜び、喜び、喜びが溢れていくんです。

すごいエネルギーを感じます。

すべてのものを覆い尽くしてまいります。ブラックのエネルギーで覆い尽くしてきた私は、一変して、それが喜びの、温かい、温かい温もりになっていく様を、今、心で感じています。

田池留吉の宇宙、アルバートの宇宙、私の中で、さらに大きくしていくことが、私の喜びです。ただただそれだけなんです。それがすごいんです。

私は、もう次元を超えたところから語っていると思います。

心の中に、ただただ喜び、ただただ喜びが溢れてまいります。

ありがとうございます。田池留吉、ありがとうございます、本当にありがとうございます。

はい、そして、もうひとつ、二五〇年後に肉を持つ私の来世の喜び、ああ三次元的な喜びも、もちろんあります。

アルバートの肉と関わり合っていく私の中には、その喜びも、しっかりと感じていきます。その喜びと、この宇宙に向ける喜び、ああ、本当に、嬉しい、嬉しいこれからです。田池留吉、アルバート、本当にありがとうございます。

四九、宇宙に思いを向ける時、心の中に本当にすごい喜びを感じます。

田池留吉、アルバートの宇宙とひとつになっていく、その喜びを、心で感じるんです。

宇宙と、私は切り離せない。私は宇宙、私は宇宙、その思いが、しっかりと心の中に喜びを伝えてきます。

田池留吉、アルバート、この喜びをどのようにして表現していけばいいのでしょうか。

これから、私は、その喜びを、どんどん波動として語ってまいります。

言葉は、喜び、喜び、その言葉しかありません。

しかし、どんどん語る私のエネルギー、私の波動、私の世界、心で感じていってほしいと思います。田池留吉、アルバート、私達はひとつ、本当にそのことを感じます。

宇宙に思いを向ける、それが私の喜びです。宇宙から喜びを感じる、心に喜びが伝わってくる、本当に、嬉しい、嬉しい瞬間です。

このことを、私はこれから、ずっと続けていける、それを思うだけで嬉しいです。二五〇年なんて、あつという間に過ぎていきます。

肉を持っていても、持っていなくても、私は、変わらず、田池留吉、アルバートの中で、この喜びの時間を味わっていける、そんな私が、今ここにいます。

五〇、そうなんです。私は、これから二五〇年に至る時間、この宇宙とともに存在しているんです。心と心の交信をしていくんです。喜びと喜びの交信をしていくんです。そして、二五〇年後に、私が肉を持ち、宇宙を語るんです。

宇宙の喜びが、そのように伝えてきます。

心を開いて、私達を迎えてくれるあなたを思う時とても嬉しい、そのよう伝わってきます。

喜び、喜び合える私達、アルバートのもとにひとつ、宇宙はひとつ、その喜びを、アメリカの地にて爆発させていくことを、私達は約束しました。

私達宇宙の喜びを、今、心で感じてくれています。あなたに本当にありがとうと、伝えたいです。

そう、これから二五〇年の間、私達とともに、喜びを感じていきましょう。

喜びの中で、私達は、二五〇年後の出会いを待ちます。

ああ、心の中がとても嬉しいです。思うだけで嬉しい。

私達は、肉を持っていない。ああでも、このようにして語れること、幸せです、このようにして続いていくんです。はい、今、確認させていただきました。

五一、静かな宇宙、静かで、温かくて、広くて、そして力強い宇宙、私は、そんな宇宙を夢見てきました。

その夢が、今は現実となつて、心に広がっています。いいえ、その宇宙が私、私は宇宙、そんな思いの中で、今を見つめています。

そして、これからの時を思う時、どこまでも、どこまでも続き、どこまでも、どこまでも広がっていく安らぎの世界の中に存在する幸せを感じます。

そんな私の中に伝わってくる思いは、田池留吉、アルバートに心を委ねていける幸せです。

心の中には、何もありません。長い時を経て、夢に見てきたことが、私の中で現実となっている喜びを、私は、過去とともに、そして未来とともに深く味わっています。

それは、果てしなく広がっている宇宙の中で、たったひとつあった真実に出会った喜びと幸せです。

私は、この地球上に、心を見るために、つまり自分のエネルギーを知るために、降り立ちました。

自分とはいったいどんな存在なのかを知るために、三次元にやってきました。そして、その時間ももう残すところあと僅かに迫っています。

来世に肉を持つ大きな意味を知った、心に届く思い、それは喜びしかありません。

五二、宇宙に向ける喜びの中で、心をどんどん大きくして行ってください。どうぞ、皆さん、心を大きくして行ってください。

私達は待っています。喜びの波動を伝えています。どうぞ、どうぞ、心に向けて行ってください。

私達は、ひとつです。宇宙はひとつ、その思いのもとに、どうぞ、心に向けて行ってください。

肉にとらわれていては、どんどんどんどん自分を小さく、小さくしていきます。そのことを、それぞれの心で感じていってください。

私達は、未来を伝えています。次元移行をした後の未来を伝えています。

そのところから、私は、波動として伝えています。

宇宙は、変わっていきます。これから、どんどんどんどん変わっていきます。

私、この肉の私を通して、その思いを伝えます。

田池留吉、アルバートとともに、私は、そう、その思いを、どんどんどんどん伝えていくのです。肉にとらわれないでください。

あなたの心は、とても、とても大きいです。広い、広いです。温かいです。本当に大きいですよ。それを、それぞれが知っていってください。

私達が、日本の国に肉を持った意味は、そう、皆さんにこのことを伝えることにありました。

私は、そのことに目覚めています。田池留吉、アルバートの中で、私達はひとつ、本当にひとつを伝えています。

小さな、小さな世界から、私達を見ないでください。私達の思いを、どうぞ、受けていってください。

五三、田池留吉、アルバート。私は、とても幸せです。真実を追い求めてきた私の中に、本当に、今、この世界が確立していることを感じます。ありがとうございます。

真実の宇宙を目指して、私は、この地球にやってきました。真実を求めてやってきました。本当に、今、それが現実となり、私の心の中に、喜びが広がっていきます。

私の中の宇宙は、この心から、どんどん広がっていきます。

宇宙に待っている友達、仲間達に、私の思いを告げていくことが喜びです。

田池留吉、アルバート、心よりありがとうございます。私は、あなたとともに、いつも、いつもあります。心の中に、田池留吉、アルバートを呼べる私が、これだけ幸せな私だった、それを、今、感じ、本当に言葉になりません。ただ、ただ、この喜びを伝えていくだけです。

伝えていきたい、その思いが広がっていきます。真実の世界を、もつとみんなに知っていただきたい。真実とはどういうことかを、みんなにもつと知っていただきたい。

言葉ではなく、波動の世界だということを、もつと、もつと、知っていただきたい。今、そのようにお伝えします。

アルバート、アルバート、アルバート、ありがとうございます。

五四、宇宙にあるエネルギー、喜びのエネルギーが、ああ言葉を語ります。波動として、言葉を語りたいと、宇宙が喜んでることを伝えてくださいと、しっかりと伝えてくださいと、私に語ってきます。

本当に喜んでるんですよ。今、今、宇宙が目覚めていくことが分かります。宇宙に喜びのエネルギーをありがとう、本当にありがとう、温もりをありがとう、田池留吉、アルバート、本当にありがとう、この喜びを私達は、地球全土に伝えてまいります。

これから、地球は、滅びてまいります。形は滅びてまいります。

島が沈んでいきます。ああでも、私達の思いは喜びです。地球人類も喜んで、それを受けていってください。

心の中に、田池留吉、アルバート、その宇宙とともに、私達とともに、歩いていくこれらの時間、地球上に、私達は、喜びの姿を現してまいります。

地球よ、ありがとう、喜びの思いで、私達は、大きく、大きく、この心を伝えていきます。

私達の思いを受けてくださってありがとうございます。

どうぞ、どうぞ、私達の思いをどんどん受け取ってください。波動を受けてい

ってください。

喜びは広がっていきます。地球全土に、そして宇宙全体に広がっていきます。

ああ、私は、嬉しいです。思いを、今、しっかりと受けさせていただいています。この喜び、大きさ、温もり、母の宇宙へ帰っていかうとする私達でございました。

五五、田池留吉、アルバート、私は、今、宇宙に向けて、喜びの発信をしている喜びを感じています。

宇宙に向けてセミナーが開かれてきた意味が、今、私の心の中にズンと入ってきます。

出合いがあつて、目覚めがあつて、今、どんどん私自身が進化していつていることを感じ、田池留吉、アルバートの世界の奥深くを進んでいることを感じます。

私には、宇宙が待っていることが感じられるし、また喜びに沸く宇宙からも、すごい喜びのエネルギーを感じて、私は、本当に、幸せです。

私は、二五〇年後に、再び肉を持つけれど、まさに宇宙に生きる私があるようです。アルバートの肉、私の肉、ともに形を通して出合いながら、そこにはもうすでに、宇宙が広がって

いる、そんな肉と肉の係わり合いの中から、本当に喜び一直線に突き進んでいくことを感じます。私の幸せは、宇宙を感じていくことだ、私の喜びは、宇宙とともにある自分を広げていくことだ、私は、アルバートに、そうはつきりと言っている来世の私を感じます。

私の中で、喜びが爆発していく瞬間、そうやって、私達は、次元を超えていくと思いました。

五六、田池留吉、アルバート。私にとっては、日本の国もアメリカの国も、本当にそれは、もうどうでもいいんです。

私は、日本の国に降り立ち、そして、真実を学び、アメリカの地から、真実を発信して、そして、地球を後にする、私は、この計画を自分の中で立てました。

もうそんな中で、私は、何もこだわっていません。日本も、アメリカも私にとっては、もう過去の土地だと思っています。

私の中には、今、宇宙しかありません。宇宙に飛び立っていくことしかありません。

日本の国は、私が愛した国です。アメリカの地も、私が愛した国です。

でも、どちらも、どちらも、宇宙に及んでいく私の思いとは、とても、とても比べものにはなりません。

私は、やはり、宇宙が大好きです。宇宙こそ私です。私は宇宙です。宇宙に思いを向ける時、地球の思いが、とても小さくなつていきます。

私の中には、宇宙があります。今、宇宙に向けて喜びを発信しています。

もう、私には、日本も、アメリカもありません。

本当はないんです。そう、本当はないんです。

ただただ、二五〇年後という時間はあります。それは、私達が宇宙へ、大きく羽ばたいていく発信の時だからです。ただただそれだけです。

日本の国も、アメリカの国も、私にとっては、もう過去のことです。

田池留吉、アルバート。私は、ただただ宇宙を思っています。

私は、それよりも、田池留吉、アルバート、あなたの宇宙に思いを向けてまいります。母なる宇宙へ思いを向けてまいります。これが私の喜びだからです。

ここから、私の喜びが始まりました。私は、田池留吉、アルバートの宇宙を捨て去り、母なる宇宙を捨て去りました。

その思いに、今、本当に心の底から変わろうとしている私のこの思いを、もっと、もっと、この心の中から出していきたいです。この喜びを伝えていきたいです。私の思いは、そこにあります。

ああすごいエネルギーを感じます。宇宙に対する思いを、もっと、もっと、語りたいです。

そして、私の心の中にアマテラスが語ってきます。

そう、私、アマテラスの思いを語っていきなさいと言うんです。

しかし、私の中のアマテラス、まだまだ語る時期ではないと答えました。

アマテラスの大きさ、喜びの思い、まだまだ語る時期ではないという思いがします。ああでも、この思いを、しっかりと見つめ出していきます。

私の中のアマテラスの思いから。

今、日本の国に話題となっている邪馬台国とか卑弥呼とか、アマテラスは、そんなちっぽけな世界ではありません。

私は、知っています。アマテラスの世界は、そんなちっぽけな世界ではないんです。

アマテラスは、卑弥呼とか邪馬台国などというものではないんです。

アマテラスは、宇宙を制覇してきた大きな、大きなエネルギーです。

私は、そのエネルギーを、しっかりと自分の中で見つめてきました。温もりを伝え続けて

きました。

そうこの日本の国に転生してきたのも、私のこの思いからです。

この日本の国を、決して、決して沈めてはいけません。私達が真実を伝えるまでは、沈めてはいけません、私達は、日本の国に降り立ったのです。アマテラスの思いがあったからです。

アマテラスの思いは、とても、とても厳しいです。しかし、その底に、温かい、温かい温もりがあることを、私は伝えました。

母の温もりです。アマテラスは、今、蘇っているのです。アマテラスこそ、この日本の国を建て直す本当の力、エネルギーです。愛なんです。愛なんです。その愛が、今、蘇って、私の口を通して語っています。

そして、二五〇年後、アメリカの地に、私達は、また真実を広めていきます。

アメリカの地は、私にとっては、とても苦しい場所でした。私は、アメリカの地に、何度も転生してきたけれど、その地で、最後に、私は、真実を発信していく計画になっています。日本の国に、この喜びをもたらした私達は、アメリカの地に、再び、喜びの発信をしています。

アメリカの地は、もう腐っています。

アメリカの地は、私達が行かなければならないのです。

アメリカの人達が、ではないんです。私達アマテラスが行くんです。憶えておいてください。アメリカの人達よ、アマテラスの力を、アメリカに及ぼしていくんです。

アマテラスの力を見損なわないでください。アマテラスこそ、真実を伝えていくエネルギーです。イエスは、その僕しもべですよ。アマテラスの僕しもべだったんですよ。アマテラスこそ、素晴らしいんです。そう、そうなんです。

アマテラスは、私達が、真実を伝え、そして目覚めた意識です。

その真実に目覚めた意識が、アメリカの地に降り立ちます。

アメリカの地に集う意識達よ、よく聞いてください。

アマテラスの意識が、アメリカの地に真実をもたらすのです。イエスではありません。イエスの傘下、何を言っているんですか。

イエスではありません。アマテラス、アマテラスなんですよ。

私は、そのことを伝えます。もう一度、しっかりと心を見ていってください。

私達に心を向けてください。あなた達の心の中に、まだまだ闇のエネルギーが残っています。アメリカはこれからです。私達が変わってまいります。

田池留吉が、日本の国に、この真実の学びを伝えたのは、私達が、この日本の国を変えて

いきたい、アマテラスの心を変えていきたいと思つたからです。

アマテラスの思いです。アマテラスの思いが、田池留吉の意識を、日本の国に降り立たせた、私は、そのように感じています。

心を、しっかりと見つめていってください。

日本の国に、学びに集つた人達よ、私の思いを聞いてください。

あなた達の中にアマテラスが、しっかりとまだまだ根付いています。

アマテラスは、あなた達の中で苦しんでいます。私のほうに思いを向けてください。アマテラスは、優しいんです。アマテラスこそ、優しいんです。そして、パワーがあります。本当に真実に目覚めたアマテラスのパワーを、自分達の心で蘇らせてください。それがあなた達の使命といえば、使命、仕事といえば仕事、そのように、私は、今、お伝えします。

五七、私が、皆さんにお伝えしようとしているアマテラスの世界は、とても、とても大きな世界です。肉を基準にしているは、分らないということを伝えました。神社仏閣にいる天照、そういうものではありません。

宇宙を制覇してきたと言いました。そのエネルギーは、膨大なんです。大きいんです。

私は、そのエネルギーを心にかけています。私は、そのエネルギーが、今、これから本当に変わっていくとして、皆さんにお伝えしたいんです。

本当に変わっていくんです。アマテラスのエネルギーを、皆さんにもっと、もっとお伝えしたいんです。

はい、私は、天照と漢字ではなく、カタカナでアマテラスと記しました。

そうなんです。漢字の天照とカタカナのアマテラスは、違います。

そのところから、よく考えてみてください。

私の申し上げることを、これからよく聞いていってください。

アマテラスの存在は、これから、皆さんに、大きく関わってきます。

小さな、小さな世界で、アマテラスを思っているなんて、本当にバカらしくて、本当に下らないということを、皆さんに分っていたきたいんです。宇宙を思っていきましょう。宇宙を思ってください。

五八、田池留吉の意識が、日本の国に降り立ったのは、この大きな、大きなアマテラスのエネルギーを目覚めさせるためでした。

そして、私も、今世この日本の国に肉を持ったのは、そのためです。

アマテラスのエネルギーを受けるために、私は、この肉を持ちました。

そして、アマテラスの目覚めを待ちました。

アマテラスが予定通り目覚め始めています。これから、どんどん目覚めていきます。

田池留吉、アルバートの宇宙に目覚めていくんです。私は、その喜びをお伝えします。

アマテラスは、苦しみではありません。アマテラスは、ブラックではないんです。

皆さんは、アマテラスと言えば、忌み嫌う心が、まだまだ自分の中にあります。

アマテラスは、忌み嫌うものではありません。

アマテラスは、ブラックではないことを、私は、伝えます。

アマテラスの心を心として生きるとは、喜びなんです。

それが、田池留吉、アルバートの宇宙に繋がっていく、私は、そのことを心で感じています。

だから、だから、アマテラスを、もっと、もっと、自分の心で知ってほしいんです。

もちろん、私もそうです。

これから、私は、アマテラスを中心に、宇宙からのメッセージを語らせていただきます。私の喜びを伝えさせていただきます。ありがとうございます。

五九、私達宇宙、もうアマテラスと言っていいでしょう。私達アマテラスの思いを、どうぞ、
どんどんどんどん受けていってください。

私達は、次元移行へ、大きな、大きな役割を果たしていくのです。

私達のエネルギーが、とても大きなことは、すでに伝えていきます。

その大きなエネルギーを自覚めさせる喜びの波動を、私達は、感じさせていただいています。
今、この心から喜びをお伝えします。

私達アマテラスは、これから、どんどん喜びを伝えていきます。波動の世界を伝えていきます。
田池留吉、アルバートの世界とともに、私達も、この喜びのエネルギーを伝えていきます。

あなた達、日本の国に転生してきた者すべての心の中に、天照、その世界を、しっかりと握っています。

天照、私達とは違います。その違いを、これから、それぞれの心で感じていくようになっていきます。

ちっぽけな世界を、心でつかんできたあなた達の苦しみを、私達は知っています。そんなものではありません。アマテラス、本当のアマテラスの喜びを、あなた達は、まだまだ知りません。

小さな天照にとらわれているからです。今、私達は、そのことを伝えます。

次元移行と申しました。私達のエネルギーは、次元を超えていきます。

そのために、今、日本の国に転生をしている意識達の多くが、アメリカの地に、再び転生をしていきます。

それは、私達アマテラスのエネルギーを、しっかりと心に受けていただくためです。このアマテラスのエネルギーが、あなた達を次元移行へと導く計画が、滞りなく遂行されていきます。私達は、そのことを伝えます。

アメリカの地は、その時はすでに荒廃しているでしょう。

しかし、日本の狭い島国とは違います。広大なアメリカの地は、すべての人達を受け入れます。同時に、たくさんの宗教も受け入れていっています。

その中から、私達は、喜びの発信をしていきます。

日本の国で、あなた達が、天照を信仰してきたのと同じように、アメリカの地も、また多くの宗教が乱立していますが、その中では、キリスト教のイメージがとても強いのです。

しかし、私達からすれば、キリスト教も、天照も、とても、とてもちっほけな世界なんです。イエスが信じてきたエホバの神、その実体を、まだまだ地球人類は知りません。

アマテラスのエネルギーを知らないからです。この私達のエネルギーを心に知っていったのなら、自分達がイエスを神として崇めてきた心の世界が、どれだけちっぽけな世界だったのか、つぶさに分ってくる、それが、これからのアメリカの人達が体験していくことです。

その中に、二五〇年後、喜びを発信していく意識が肉を持ちます。

私達の思いを心にしつかりと受け入れて、その喜びを発信していくのです。

当然、アメリカの地は、もつと、もつと変わっていきます。

日本の国は、すでにその時、沈んでいます。アメリカの地も、今とは、見る影もなく荒廃しています。その中から、私達アマテラスのエネルギーが、しつかりと喜びを伝えていく、このような計画です。

次元移行には、私達アマテラスのエネルギーが、大きな、大きな役割を担います。

そのことは、すでにお伝えしています。どうぞ、日本の国に転生をしてきている皆さん、もつと、宇宙を思っていてください。アマテラスの心を感じていてください。

あなた達の握っている天照とは違います。同じ発音でも、私達とは違うことを心で知っていくこと、それぞれの課題としていてください。

六〇、なぜ、田池留吉の意識が、地球上の、それもこんな小さな島国、日本に降り立ち、二十数年かけて、セミナーを開催してきたか、これは、非常に大きな意味があります。

今、アマテラスの思いを感じ、今世のセミナー開催場所は、島国、日本でなければならなかったのです。

次元移行は、意識の流れの中の厳然たる事実です。

それは、同時に、アマテラスが田池留吉、アルバートの真実の世界に触れ、目覚め始めるということでした。

それが意識の流れでした。

そして、今、アマテラスの心を受け、このように伝えることができるのは、おそらく私しかいない、だから私は核なんだと思います。

そういうことが、私の中で、段々に感じ始めてくると、私の中で、色々なことが符合してくるのです。

アマテラスの世界が明らかになってくると、私も明らかになってくる、そして、田池留吉、アルバートの世界、宇宙が、さらに明らかになってくる、その連鎖を、私自身感じます。

そして、私は、今、田池留吉の確かな眼力を思っています。

やはり、只者ではありませんでした。私自身の学びの年月を振り返り、よくぞ、私を探し

当ててくれた、そんな思いをつくづく感じます。

そして、これは、二五〇年後の来世も、そっくりそのまま当てはまります。

アルバートの肉が、私を真つ先にキャッチしてくれるのです。

そして、それは言うまでもなく、私達には、次元移行という大きな仕事が待っているからです。

来世のアルバートの肉は、超敏感です。そして、私もまた、瞬間的に心を開き、これから、私はずっと交信し続けるアマテラスの意識とともに、次元移行に向かつて、突き進んでいくのです。

六一、私の意識の世界は、アマテラスのエネルギーを受け入れるために、準備を整えてきました。母の反省を通し、母の温もりを感じ、アマテラスに伝えました。

そのアマテラスが、私の中に伝えてくれたものは、大きな喜びでした。

アマテラスが語ります。

「宇宙全土に、これから喜びのエネルギーを満たしていきます。

私達の心は、遙か、遙か宇宙の彼方にまで届いていくようなそんな勢いで、これから発信していきます。

田池留吉、その意識の中に、私達は、今、大きな喜びとして存在しています。」
このことをアマテラスは、少しでも早く伝えたかったです。

アマテラスの宇宙を、暗黒の宇宙から光り輝く宇宙へ変えていく、大きな流れです。

その流れの中にあるアマテラスが、今、心に呼びかけています。

アマテラスの心に触れていってください。アマテラスの波動に触れていってください。

母の温もりを確立したならば、どうぞ、アマテラスに心を向けていってください。私達は、二五〇年後に、この思いを、しっかりと伝えていきます。

六二、神社仏閣に詣でる心、神に祈りを捧げる心、その姿、信仰心の厚いその心から流れるエネルギーを、どれだけ宇宙に流してきたか、地球人類が、これから自らの心で知っていくのです。

アマテラスは母の温もりを知っています。母の温もりを心に感じています。田池留吉、アルバートの波動の中で、生かされ続けてきた私達を感じるんです。アマテラスの心は、今、母の温もりを感じ、喜びを広げています。

これから日本の国に、アマテラスの本当の思いを伝えていきます。

あなた達が、心の中にずっと握ってきた天照、それがどれだけちっぽけな世界だったか、どれだけ欲にまみれた世界であったか、アマテラスの本当の思いを、あなた達の心に伝えたいと思います。

日本の国において、神社仏閣のある場所、特にたくさんの人達のエネルギーを集めてきた場所を中心にして、その形は無残に崩れていきます。

そこに生活している人達の場合、一瞬のうちに奪っていきます。

あなた達は、おそらく自分達の信じてきた天照に、救いを助けを求めていくでしょう。しかし、その願いも空しく、どれだけ救いを求め、祈り続けても、もう崩壊のスピードを止めることはできません。

真実の世界に合わないものは、自然に淘汰されていくことを、あなた達は、どこかで知るようになっています。

アマテラスの心を知ってください。本当のアマテラスの心を知ってください。母の温もりに目覚め、母の温もりを心に蘇らせ、母の温もりとともに生きていこうとするアマテラス、あそれは、田池留吉、アルバートの宇宙に包括されていきます。

それが、これからの二五〇年に至る道、世界各地で、宇宙からのエネルギー、アマテラス

が働きかけていきます。

六三、田池留吉の意識が肉を持つてする仕事は、ほぼ終えているでしょう。

なぜならば、田池留吉の意識は、宇宙にあるアマテラスを目覚めさせるために、今世の時間、肉を持つてきたと言えるからです。

意識の流れの計画通りに、遂行されていることを感じます。

アマテラスの目覚め、これは、本当に大きな計画でした。

次元移行へ向けての大きなステップでした。次元移行には、宇宙のエネルギーが大きな仕事をしていきます。次元移行は、宇宙とともにあります。

その宇宙の目覚め、それを、田池留吉、アルバートの真実の波動の世界が呼び起こしてくれたのです。

ともにあることを伝えてくれました。アマテラスは、田池留吉、アルバートとともにあることを伝えてくれました

「あなたの真のパワーを発揮していきなさい。それには、母の思いを、母の温もりを蘇らせていくしかありません。」

田池留吉、アルバートの宇宙に齒向かってきたアマテラスの心に、今、その思いが、どんな湧いて出てきます。

真のパワー、そう、アマテラスは、今世の時間を経て、これから宇宙に真実を伝えていくことを感じています。

アマテラスが田池留吉、アルバートの宇宙とひとつになっていけばいくほど、様々な現象を宇宙に起こしていきます。

喜びのパワーが宇宙で爆発していくからです。

六四、アマテラスの世界に触れていくほど、私は大きくなっていきます。私が大きくなっていけば、またアマテラスの世界も喜びを伝えてくれます。

本当に宇宙が嬉しいです。宇宙と思えば嬉しい。そこには、田池留吉、アルバートがあるからです。

アマテラスの宇宙が、喜びで成長していくことを、手放して喜んでくれている田池留吉、アルバートです。

ようやく、私達宇宙の本当の思いを伝えていけることが嬉しいと、アマテラスは伝えます。アマテラスを知らずに、アマテラスを忌み嫌い、あるいは、アマテラスにひれ伏し、アマテラスを崇めてきた愚かな心を、どうぞ、今の時間に見えていってください。

そしてアマテラスの本当の思い、本当の姿に、その心で触れていってください。

そうすれば、なぜ、自分達が、今、日本の国に肉を持っているのか、そして、なぜ自分達は、この学びに集ってきたのか、分かってきます。

私は、はつきりと自分の中で感じています。今世、日本の国に肉を持ったこと、そして学びに集ったこと、それを思うだけで、私は、もう喜びです。

何の狂いもない意識の流れを感じ、喜びです。

私の目覚めは、宇宙の目覚めだったんです。私は、そのことを、あまりにも、小さくとらえていました。

ただ単に、田池留吉、アルバートを感じて嬉しい、心が広がっていく、そんな程度のものではありませんでした。

宇宙の目覚め、本当にすごい計画だと思いました。

六五、アルバート、私は、この宇宙を、もっと、もっと大きく広げていきます。喜びの道を歩いていきます。その景色を、もっと、もっと大きくしていきます。温かい、母なる宇宙へ続く道を、喜んで、喜んで歩いていきます。

この喜びを、みんなとともにしていく喜びを感じていきます。

宇宙が変わっていく喜びは、私の最大の喜びでした。田池留吉、アルバートの宇宙と出会った喜びでした。

アマテラスの喜びを、私は、心を感じています。アマテラスは、もっと、もっと変わっていきます。本当に変わっていくんです。こんな夢みたいなきごとがありました。

今世の出会いを、本当にありがとう、アマテラスに思いを向けると、いつも、いつも、そのように伝えてくれます。

アマテラスのメッセージを伝えます。心から、喜びの波動として語っていききたいと思います。田池留吉、アルバート、本当にありがとうございます。

心の中に、喜びが、温もりが、温かい温もりが広がっていく世界があるんです。ありがとうございます。

六六、アマテラスに、田池留吉、アルバートの波動の世界を伝え続けていく私の喜びは、とても大きなものがあります。

アマテラスが答えてくれるのです。アマテラスは間違ってきたことを、伝えてきます。アマテラスの宇宙は、間違ってきたことを、伝え続けてきました。

お母さんの温もりを、もっと、もっと伝えてくださいと、私に伝えてきました。心の中にある温もり、そんな温もりを、もっと、もっと伝えてくださいと言ってきました。

アマテラスの宇宙は、温もりに飢えていました。寂しい、寂しい中で、宇宙を支配してきたのです。

その心は、とても苦しくて、寂しくて、孤独でした。言葉では言い尽くせないものでした。そう、アマテラスは伝えてきました。

今、アマテラスは、その思いを、しっかりと見つめ、田池留吉、アルバートの宇宙とひとつに重なっていくことを、喜びとしています。

次元移行への道を驀進まげんしているアマテラスの心を、私は、受け続けています。この喜びを私の中から伝えていきたいです。

心の中に、アマテラスの喜びが伝わってきます。

田池留吉、アマテラス、ありがとう、ありがとう、ありがとう、そんな思いが伝わってきます。

今、私は、このようにして肉を持ち、アマテラスを感じ、その心を蘇らせ、今、ともにひとつとなって、アルバートとともに歩いていく道を、このように、はっきりと心に伝えていく、そんな私は、今、喜びの中にあります。

肉は、本当にちっぽけな世界でした。そのちっぽけな世界を、この三次元で、何度肉を持つても、突き破れなかった私の心でした。

今世、私は、アマテラスの目覚めを待ち、私は、アマテラスの目覚めとともに、この心を大きく、大きく、広げていく計画を立てました。

田池留吉の意識を、心に受け、ともに歩いていこうとする思いを、確認させていただきました。田池留吉、アルバートに心を向ける時、肉を持てる幸せを、初めて感じたのも、今世でした。本当に肉というものがなかったら、私は、自分をどうすることもできませんでした。苦ししい暗闇の中で、自らを沈めてきた私の心に、今、本当に永遠に続く道が浮かび上がっています。アマテラス、その存在、私とともに大きく変わっていく喜びを感じています。

六七、宇宙が動く、暗黒が光を見出す、まさにアマテラスが目覚めることは、宇宙にとって大きな出来事でした。

アマテラスのエネルギーが変わってくると、当然、この地球上において、様々なところからブラックが噴き出します。

端的に言えば、地球人類の心が握っている神の世界の崩壊が、色々な現象を通して明らかになってくるのです。

ブラックの神を握ったままでは、平和は永遠にやってこない、戦争はいつまでも続く、それぞれの神を掲げて、相手を叩きのめすまで死闘が続く、それが地球人類の歴史でした。

本当は、そんな神の世界など存在しない、すべては、形を持った意識、形を本物とする意識が創り出してきた世界です。だから、すべてがブラックなんです。天照も、エホバも、何とかの神も何も無い。それらの神はブラックですということが、明らかになってくるのです。

アマテラスが、真実に目覚めることで、人類が信じてきた神、あると信じてきたその世界は、みんな間違っていた、そんなものは、何もなかった、ただあったのは、温かい、温かい温もりの世界、境目がなくどこまでも広がっていく世界、ひとつ、その世界の存在が明らかになってくるのです。

人類は、形を本物としています。だから、言葉にとらわれていきます。アマテラス、田池留吉、アルバート、その言葉のひとつ、ひとつにとらわれていき、そこから流れるエネルギー、波動を感じられなくなった、いいえ、分からなくなったのです。

学びは、進化しているのです。真実は、心で感じていくものだということを、さらにはつきりと示されていく、それが学びは進化しているという意味です。

今、はつきりと言えるのは、宇宙、そのエネルギーの質が変わったということ、それは、つまり、そのエネルギーが仕事をしていくその内容も変わったということ、どんどんどんどん、真実の方向に作用していく、それは、宗教を始めとして、ブラックの部分があからさまになっ
ていき、そして崩壊していくことを言います。

六八、地球人類が最後まで、その心から離さないものは、神です。

天照にしろ、イエスにしろ、そしてその他の神にしろ、自分達が信じた世界を、最後まで離せないのです。

だから、この宇宙には、必然的に天変地異が起こってきます。

真実に目覚めた意識、宇宙の中で真実の波動の世界に触れ、そして自らを目覚めさせた意識、今、私は、そのエネルギーをアマテラスと記しています。

そのエネルギーが、地球はもちろん、宇宙全体に喜びの仕事をしていくのです。それが天変地異のエネルギーです。

田池留吉、アルバートの意識は、地球を含む宇宙全体に、今、働きかけているのです。

その喜び、愛のエネルギーに触れ、目覚めた意識が、次から次へと天変地異という形で、気付きの促しをしていきます。

しかし、地球上に、かつて体験したことのない天変地異が起こってきても、人類は、やはり、神に救いを求め、祈り続けていくでしょう。

自分達のその思いこそが、天変地異を起こしているのだと気付くまで、そして、自分達の心から、本当に神というものを離すまで、幾度となく、天変地異を体験していきます。

肉という形を持った意識が創り出してきた神の世界、その崩壊には、これから二五〇年、三〇〇年という時間が必要です。

その仕事始めに、アマテラスという宇宙のエネルギーの目覚めがあったのです。それが今世でした。

そのために、田池留吉の意識は、まず、今世、アマテラスのエネルギーが具現した国に降り立ったのです。

そして、今世の仕事をして、少し時間をおき、いよいよ、多民族、多宗教を受け入れている風土、文化のある国に、肉を持ちます。

すでに、宇宙は、喜びに目覚めています。宇宙は、意識の流れを伝えてきます。

その喜びの波動、喜びのエネルギーを受けていくために、私もまた肉を持ち、喜びの発信をしていくのです。

私は、アルバートの肉を通して、田池留吉の世界を感じていきます。

田池留吉の世界が、アルバートを通して伝わってくるのです。かつて、宇宙に目覚めをもたらした田池留吉の意識の世界、その世界を、私は、アルバートの肉と出会うことにより、蘇らせていくのです。

そう、そこには、もうアルバートの肉も私の肉もない。あるのは、宇宙だけです。私達はひとつとつという思いだけです。

私達の心から喜びのエネルギーが、そして宇宙からも喜びのエネルギーが、私達は、まさに一体となつて、真実の世界を発信していきます。

疲弊し切った人々の心に伝わっていくものは、母の温もりと、安らぎ、その中に大きく包み込まれて存在している幸せです。

そんな世界に大きく広がっていく自分達を知っていきます。

そして、私達宇宙とともに、次元を超えていくのです。

六九、田池留吉が、今世開いてきたセミナー、その内容、そんなに簡単に、多くの人達が心で理解することは難しいです。

今世の私達は、数を問題にしているではありません。

ただ、真実を、正確にはっきりと明確に伝えることができることを重点に、田池留吉の学びはありました。

肉を持って学ぶ難しさと、肉を持たなければ学ぶことができない現実の中で、ここまで進んできた学びの成果を受けて、これから二五〇年に至る時間が展開していきます。

どうぞ、今世、学びに触れた意識達よ、心で感じていってください。

そのためには、焦らずに、たゆまずに、真摯な思いで、自分の心を見つめていってください。

アマテラスの思いに触れていくほどに、今世、私がこの日本の国に肉を持った喜びを感じます。日本の国に肉を持って、そして、アマテラスの心を知っていく私は、幸せです。

どうぞ、皆さん、真の意味で、今世、学びに触れたことを誇りに思ってください。そして、早く、自分との約束を思い出してください。

学びに触れる、これは本当にすごいことなんです。

宇宙を感じ、自分の本質に近づいていけばいくほど、それは心に染み渡っていきます。

自分を解き明かすことができるのは、田池留吉、アルバートの波動に触れ、そしてその世界を進んでいくしかないことが、分かってきます。

私の意識の世界は、ただただ田池留吉、アルバートを思い、そしてこの心から喜びのエネルギー、私自身を出していくでしょう。

真実に目覚めた、本当の愛を知った心にあるものは、喜びだけです。

田池留吉、アルバートの世界から、真のパワーを伝えていただきました。

喜びこそがパワー、真のパワー、私達宇宙が追い求めてきたパワーの世界は、自分達でした。そのことに、ようやく、今世の時を経て、心で知ったのです。宇宙の喜びは、本当にすごいです。

七〇、意識の流れは、次元移行を指しています。次元移行を大きな仕事として、意識の流れは、大きく動いています。

そんな中に、三〇〇年の時間を猶予されています。

肉の喜びと幸せを追い求めても、あと三〇〇年、限られた時間の中で、自分の存在がどうなっていくのか、それぞれが選択していく道が、目の前に突きつけられます。

それが、これからの三〇〇年という時間です。

もはや地球人類に、ほとんど猶予はないと言っていていいでしょう。

それほど、肉から意識への転回は難しいのです。

私は、今世、肉を持ち、自分の用意した環境の中から、心を見て、そして、田池留吉、アルバートの波動の世界を心に感じていく道筋にある自分を感じています。

その世界を感じていけばいくほど、意識の世界の正確さと喜びと幸せと、そして、一方では厳しさを感じます。

しかし、心の中に追い求めてきた真実の世界を、今、現実のものとしている私の中には、もうこの三〇〇年が、嬉しくて、嬉しくてたまりません。

私の宇宙、アマテラスの宇宙、田池留吉、アルバートの宇宙は、限りなく、喜びを伝えてきます。二五〇年後の最後の瞬間を、私達は喜びで迎えることを、宇宙は伝えてきます。宇宙は次元を超えていく喜びを伝えてきます。

果てしなく広がっていく世界に、自分の思いを馳せていく時、田池留吉、アルバートの意識とともに存在していく喜びを心に感じる私には、もう何もありません。ただ真っ直ぐに、田池留吉、アルバートを心に広げていくだけです。

七一、余分なものをこそげ落とし、ただ一点を見つめていくエネルギー、それは、まさに、地獄の奥底から這い上がってきたエネルギーです。

そんなエネルギーを自分の中に増殖してきた私にとって、今世は、まさに天変地異でした。私にとっては、今世の時間と空間が、天変地異でした。

心を揺り動かし、そして、心をつかんで離さない思い、それは心の底からの慟哭の思いを一斉に噴き上げてくれました。

それが宇宙に向ける瞑想の中で、はつきりと感じられます。

宇宙、それは喜びの源泉でした。宇宙にこそ、本当の私の姿がありました。

宇宙に思いを向ければ向けるほど、私自身を感じてきます。そして、そこには、温かい、温かい温もりと、どこまでも広がっていく喜びがありました。

ひとつという思いが伝えてくれる波動の世界は、私が求めて、求めて、探して探し続けてきた私でした。

おびただ 夥しいブラックの世界を抱えてきた意識に、ようやく、本来の輝きを取り戻す術を伝えてくれた田池留吉、アルバートの意識には、ただただ感謝しかありません。

本来のあなたに蘇ってください、セミナー会場で、何度そのメッセージを受けてきたことか。今、私は、ようやくその意味を自分の中で真っ直ぐに受け止めていることを感じます。

自分を目覚めさせることが喜びでした。未来永劫続く自分の存在を知っていく喜びが心に感じられます。

来世の私も、すべてを整えています。本当に何の狂いもなく、私は、真実の道をまっしぐらに突き進んでいくエネルギーでした。

そのエネルギーが、再び肉を持つ、宇宙とともに大きな仕事をしていくために、私は、ひとつの肉を持ちます。

私にとって、肉とは、それだけの意味でした。私が広げていく肉の喜びと幸せは、ただひとつの肉を持つことにありました。肉を持つてやるべきことに、無上の喜びを感じていける来世の私です。

そして、そこには、いつも、田池留吉、アルバートがいるのです。なぜならば、私達は、ひとつだからです。

今、私は、過去とともに、未来とともに、存在しています。

波動の世界の素晴らしさ、その中に生き続ける自分を感じる時、心から喜びが溢れ出てきます。

七二、私は、今、アマテラスの喜びを伝えています。

アマテラスが地獄の奥底から蘇り、本当に自分の姿に目覚めたことを伝えています。長い、長い時間を経てきました。今世、田池留吉との出会いを心から喜んでいきます。

アマテラスの目覚めは、意識の流れそのものでした。

本当に今世という時間に照準を合わせてきたことを感じ、なるほど、なるほど、自らの計画に何の狂いもなく、学びが本当にスムーズに捗っていくことから、容易に意識の流れというものを感じる今現在です。

もちろん、以前よりこの思いは、私の中で確かにありました。意識の流れの真つ只中にあることを感じてきましたが、それも、こうして、時間を経るたびに、本当に喜びのパワーのごさを、しみじみと感じています。

どうぞ、皆さんも、自分の中のアマテラスをしっかりと見つめていってください。アマテラスに思いを向けていってください。

田池留吉、アルバートの宇宙に徹底的に歯向かってきたアマテラスの思いを、どうぞ、温かい思いで受け入れていってください。

そのために、これまでに、母の反省、他力の反省を重ねてきたのです。

アマテラスですよ。アマテラスの心を解き放つために、今世、日本の国に肉を持った自覚を持つてください。

アマテラスに伝えていくのです。アマテラスを神として仰ぎ見、そこからパワーを得ようとしてきた愚かな自分だったことを、本当に心の底から認めていってください。

あえて、組織の名前を挙げませんが、アマテラスを神とする宗教団体に心を向けていった人達よ、今世こそ、自分達の心の中のアマテラスの解放に絶好のチャンスなのです。

なぜ、その組織に入り、心を傾けていったか、今もなお、その組織に縛られたままなのか、もつと、もつと、自分を精査しなければならぬと私は、お伝えします。

七三、私は、以前よりずっと、宇宙を語り合いたいと思ってきました。心と心の交信をしたいと思ってきました。今それが現実となり、私の中に広がっています。

心の中に宇宙を思う時、私の中で応えてくれる意識達の喜びを感じます。アマテラスは、もちろん、喜びの歓声を上げています。私の中の宇宙、この心の中の喜びが、遠く、遠く、宇宙へ、宇宙へ広がっていくのを感じます。

これから、まだまだ、私の心は広がっていきます。

心の中に、田池留吉、アルバートの波動をしつかりと伝えていける宇宙、その宇宙を私の中に呼び続けます。

私は、これから二五〇年に至る時間、この作業を続けていきます。

この作業は、私が喜びとしていたことでした。

今、自分の中に、その思いが芽生えてきています。

ああ、心の中に宇宙を呼んでいける私があることを、今、確認させていただいています。

田池留吉、アルバート、ありがとうございます。今世、本当に出会いをありがとうございます。ひとつの肉を持ち、このように私の心を語らせていただけること幸せです。

本当に喜びです。田池留吉、アルバート、何度、何度、心に夢見てきたことか。今、現実となり、私の中に広がっていく世界、本当にありがとうございます。

宇宙へ向ける時、異語がこの口より飛び出します。

もっと、もっと、私達に伝えてくださいと、私の心に伝えてくださいと、私に心に向けてくれる宇宙達、喜びの思いを感じます。

暗黒の底に沈んできた宇宙達に、喜びの思いを伝え続ける私がありました。

アマテラスの目覚め、そこから宇宙が広がっていく。どんどんどんどん広がっていくのが、感じられます。

宇宙に点在する意識達、はい、人々は、色々な名前呼びます。それが果たして、本当にそうなのかは、私には分かりません。

ただ、分かっているのは、すべてがブラックです。

ちっぽけな、ちっぽけなブラックの世界を、地球人類は大きな世界だととらえてきました。

パワーを求めてきたのです。そのブラックの世界に、パワーを求めてきた地球人類こそ、本当に愚かな生物でした。

今、私は、ようやく、そのことを、しっかりと伝えていける私の宇宙です。

七四、アルバートの意識の世界、その中に、田池留吉の世界を思い出すことが喜びなんです。それが、私にとって、大きな喜びです。

宇宙を思える、田池留吉の世界は、私の中で大きく広がっていきます。

これは、私の二五〇年後の来世です。

アルバートの肉を通し、アルバートの意識の世界から田池留吉の世界へと私は、そう、田

池留吉の肉からアルバートの世界を思うのと同じように、いいえ、もっと、もっと、大きな大きな田池留吉の世界を思っていくでしょう。そこには、ただただ喜びしかないと感じます。私は、まだまだその途上です。

今、宇宙を思う時、嬉しい思い、本当に喜びの思いを感じるけれど、苦しい、苦しい宇宙も、まだまだたくさんあります。

それを、私は、これから二五〇年かけて、自分の中で喜びへと変えていくんです。

そして、私は、アルバートの肉と出会います。

アルバートの肉を通し、その意識の世界に思いを馳せる時、田池留吉の世界を思い出します。これは、本当にすごいです。田池留吉の宇宙、本当に、大きな、大きな宇宙を思い出していくんです。

私は、エネルギーです。宇宙に広がっていくエネルギーでした。そんな大きな思いが、心の中に広がっていくのを感じます。

嬉しくてたまりません。二五〇年後が今、そう確かに今です。

今、今が二五〇年後、心の中にあるアルバートを呼ぶ私、そして、いつも、いつも、田池留吉がいる、それがとても嬉しいです。

七五、宇宙を思うと、心が解き放たれていきます。どんなに真つ黒でも、どんなに苦しい宇宙だつていいんです。ただ、今、宇宙を思える、それだけが喜びです。それは私だからです。

宇宙を思う、私を思う、こんな嬉しいことはありません。

肉という小さな中に押し込めてきた心の世界が、今、宇宙を思うことで、伸び伸びと広がっていくことを感じます。

そんな中で、私は、田池留吉、アルバートを思っています。ただただ嬉しいのです。

ここにこうして思えることが嬉しい、私の心には何もありません。

私は、波動の世界に存在しているんだ、言葉も何もない、ただ思えば通じる温かい温もりの中にあつた、宇宙を思い、母を思い、そして、これからの時間を思えば、ただただありがとうしかありません。

肉は必要だからここにあります。私は、私の中で、私とともに歩いていく、生きていく、そんな喜びが、ふつふつと湧いて出てきます。私の中には、確かな世界がありました。決して消えないこの温もりの世界、この喜びの世界、心を突き抜けてどこまでも、どこまでも広がっていく世界、そんな世界が私だつた。宇宙を思う瞑想の中で、私は、限りない幸せを感じています。

私は、私を思えばよかったです。私を思えば、そこにすべてがありました。

アマテラスも、田池留吉もアルバートも、すべてが私に、喜びを伝えてくれ、そして、それがあなたですよと伝えてくれます。

喜びが私、私は喜び、その思い、力強いエネルギーとなつて、宇宙に仕事をしていくんだ、今、そのように感じています。

七六、崩れていくものは崩れていけばいい、崩れていくことで見えてくることがある、そうして、自分の心だけを見つめていけば、行き着くところ、やはり私は幸せでした、私は喜びでしたという思いしかありません。

どうして、なぜ、こんなに幸せな私だったのに、苦しみ悩み、憂いてきたのか、そんな過去からの私とは似ても似つかない意識の世界にある私を感じています。

しかし、これがすべてではないし、今、感じている世界も、そう遠くない時間の中で、小さく感じていくだろうと思います。

今世も来世も喜びを辿る道の途中だからこそ、楽しいと私は思っています。

来世の私の肉的环境に、私の心は暗闇の中に沈む、それもまた楽しいことなのだ、そこか

ら鮮やかに蘇っていく醍醐味がたまらないと、私の中は語ります。

宇宙に思いを通じ合わせていけば、そこに遥か彼方からの思いが伝わってくるから、これはやめられない楽しみです。

宇宙は私に何も求めてこない。私も宇宙に何も求めない。ただ喜びを広げていけることが嬉しいと、心の底から伝えてくる、こんな素直で優しく頼もしい世界があったなんて、本当に心に広がっていく世界は、どこまでも楽しいです。

田池留吉、アルバート、そう思う心の幸せ、それは、母の意識が伝えてくれました。

お母さんのお腹の中で、私は、数え切れないほどその安らぎと幸せを感じさせてくださいました。

母を思う、今、たくさんの宇宙達が、それを素直にやり続けてくれていきます。このエネルギーがやがて、この地球上においても明らかになってくること、待ち遠しいです。

七七、今世から来世の間に、ふっと思いを向けました。

心の中に、田池留吉、アルバートを呼んでいる私がある。

田池留吉、アルバートの世界を心に呼んでいる私があります。今、心に感じているのは、宇宙とともに、田池留吉、アルバートとともにある私です。

宇宙は私、そう田池留吉、アルバートの中で、そのことを呼び続けます。心に向け続けます。そして、二五〇年という時間が経ちます。

これまで、私は、ずっと、ずっとそのようにしてきたことを、二五〇年後、肉を持ちながら感じるのです。

ああ私は、永遠に生きている。これからも永遠に生き続ける存在だ。

私は、心の中で、自分を思い出していきます。

永遠に続く意識である。永遠に続く命、永遠に続くエネルギー。

宇宙とともに私は、私を目覚めさせていきます。

それが、私の二五〇年後の来世の目的です。

心の中に、田池留吉、アルバートを確立している私は、これから二五〇年に至る時間、私の中で、宇宙とともに存在していきます。

そして、二五〇年後、肉を持ちます。その肉は、私とともに、喜びを広げていけるのです。

田池留吉、アルバートとともに喜びを広げていけるのです。

心の中から伝わってきます。自ずと伝わってくる思いを、意識の私を、今、肉を持って感

じられることが喜びです。

七八、田池留吉、私の宇宙を思います。田池留吉、ありがとうございます。宇宙が応えてきます。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。心の中に温もり、広がり、温かい、温かい思いを感じさせていただいています。

心の中より、ただただ、感謝、感謝、感謝の思いが伝わってきます。

これから、二五〇年、三〇〇年かけて、田池留吉、アルバートとともに歩いていく宇宙、私達宇宙の喜びを、今お伝えします。

地球の人達に、私達の思いを伝えていくには、天変地異のエネルギーしかありません。私達は、肉を持たない意識です。その私達の喜びを、宇宙に広げていく中で、地球もその中にあります。

地球上に、肉を持つ意識達に、私達の喜びを伝えていく私達の計画を、私達は、このように伝えていきます。天変地異という形で、私達は、必ず伝えていくことを、ここにお伝えします。二五〇年、三〇〇年、ともに喜んで、田池留吉、アルバートを感じていきましょう。そして、

遙かなる宇宙へ帰っていくそんな喜びの中にあることを、私達はお伝えします。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。

七九、次元を超えて思います。

私達は、次元を超えて存在していくを感じています。

私達宇宙は、次元を超えて存在しているを感じています。

私達は、肉を持たない、その世界にいることを感じます。

ああ、私の肉はありません。しかし、この心の中に母を求める思い、私の中に真実を求める思い、安らぎを求める思い、真実の世界にどんどんどんどん近づいていこうとしていく思い、その思いは、確かに、確かに、今ここにあります。

それが、私が次元を超えて、これから突き進んでいこうとしている世界です。

田池留吉、アルバート、今は、そう呼んでいます。ああしかし、それも、私達には、もはや必要ありません。私達は、ひとつの世界の中で、ともに、ともに、歩んでいける、ともに、ともにあることを確認し合っていていける、そんな世界にあるのです。

喜びが、幸せが広がっていく世界です。そんな世界に、私達は、今、心を向けています。

私は、田池留吉、アルバートの意識、三次元に降り立った意識です。

私達と次元を超えて真実を求めていく世界から、心に届けます。私達が、今、その思いを届けます。

この思いの中で、どうぞ、どうぞ、心の中を見ていってください。私達の思いを、波動として受けていってください。母の温もりの中にある自分達を、喜びで迎えてくれるそんな世界が、どんどんどんどん広がっていくのです。

田池留吉、アルバートの意識、三次元に降り立った意識は、その次元を超えています。今、その中から、私達は、このように伝えていきます。

心の中を、もっと、もっと見ていってください。田池留吉、アルバートの世界は、無限に広がっていきます。

無限なんです。無限に広がっていく温もり、広がり、安らぎ、静かな、静かな空間、そんな世界です。

八〇、田池留吉と思うだけで嬉しい、アルバートと思うだけで嬉しい、宇宙を思えば嬉しい、

温もりが溢れてきます。

次元を超えて存在する喜び、その思い、波動が伝わってきます。

心の中に喜びの源泉がありました。コンコンと湧き出る源泉、私の中の宇宙でした。

ともに次元をこえて、今、喜びの思いが響いてきます。

ただただ嬉しいです。

八一、私の意識の世界は、変わりました。今世を境に、見事に変貌しました。

これからの時間、それを証明していきます。

宇宙が変わった、目を見張るほどの勢いで、宇宙は変わった、このエネルギーはすごいと思います。

宇宙に及ぼすエネルギーはすごいでしょう。

真実との出会い、これがすべてでした。まさに、意識の流れがそこにありました。意識の流れが、真実との出会いを実現させたのです。

流れにそぐわないものは、自然淘汰されていく、ただそれを淡々と感じていけばいい、もうすでに道は、開けているのだから。

八二、宇宙を思う瞑想、宇宙は温かい、温かい母の懐ふとしろでした。

宇宙を思うことに恐怖してきた心に、今、宇宙から確かな温もりが伝わってきます。

宇宙を思うことは、母を思うこと、母の思いが伝わってきます。

宇宙を思う瞑想により、自分の心が変わったことを感じます。

宇宙を思うことは喜び、宇宙を思えることは喜び、今、確かな手ごたえを心に感じています。

心を感じ、感じたものを信じていく、それを淡々と積み重ねていけばいいんだ、そうして、また自分の心に響くものがある、その響いてきたものを、素直に受け止めていけばいいだけ、すべては喜びに帰っていきける、そんな心の状態になっていると、私は思っています。

宇宙と母とが繋がった、それが私の喜びです。

八三、それぞれの宇宙に新しい風を起こす、それが宇宙の風、その内容、その波動です。

私は、自分の中に、宇宙の風、宇宙の新しい風を呼び起こしました。自ら設定してきたことだけで、この心の中に、母の温もりを蘇らせたのです。

私の暗黒の宇宙は、今、喜びへと、大きく、大きく変わっていています。

心の中に、母を呼ぶ思いがしっかりとあります。母の温もりに帰っていける自分を確信しているからです。

どんなに真つ黒でも、母は待っていました。母の温もりは待っていました。

私は、その母の温もりが自分の中にあつたことを、心に呼び起こしたのです。それが今世でした。私の宇宙は変わりました。暗黒の宇宙は変わりました。ブラックのエネルギーが変わるといことが、どれだけすごいのか、これから、様々な現象を通して、証明していくでしょう。それほど、宇宙にブラックを流してきた私の心、今、田池留吉、その世界に、その波動の世界に出会い、真実に出会い、真実に目覚めた私でした。

宇宙が変わっていく、宇宙の風を起こす、新しい風を起こす、新しい風を自分の中に呼び起こす、それが宇宙の風。

宇宙の風は、波動です。温かい、温かい、波動です。温かい母の温もりを呼び起こす波動です。どうぞ、心で感じていってください。

八四、一度、真実に目覚めたなら、もうただその喜びだけです。田池留吉を思う時、アルバー

トを思う時、宇宙を思う時、その喜びが、心に広がっていくだけです。

過去は、ブラックでした。しかし、今、そして、これから未来へ至る時間は喜びの道です。それは、過去も喜びだったことを伝えてくれています。私は、それを確信しています。

ブラックの中で、嘆き、悲しみ、もだえてきた過去は確かにありました。そんな中から、自分を呼び起こすのは、ただひとつ、真実に出会うことです。本当の自分に目覚めることです。それしかありません。

真実に出会い、本当の自分に目覚めたなら、この喜びは、永遠に続くことが心に響いてきます。だから、とても幸せなんです。とても喜びなんです。何はなくても喜びなんです。私自身が喜びだった、喜びしかない世界があったんです。それを、私は、心に知りました。

己を知らずに存在し続けてきたことが、どれだけ愚かなことだったのか、心で知りました。そして、その総仕上げが、二五〇年後の来世です。

来世、ひとつの肉を持ち、私は、その仕上げを、きちんとしていきます。

遙か、遙か、彼方に及ぶ暗黒の宇宙が、喜びへと変わっていくには、これからの時間を必要とします。その喜びの波動、喜びのエネルギーが、私に、二五〇年後、肉を持たせるのです。肉を持ち、その波動、そのエネルギーとともに、次元を超えていくのです。そんな計画が、意識の流れでした。その流れの中にある私を感じます。

だから、私は、ただただ喜びを広げていくだけです。

八五、意識の世界には、何も無駄なものはありません。

極悪非道な思いも、熾烈な闘いも、みんな必要でした。

本当の世界が分かれば、それらはみんな肥やしでした。自分を知っていくための肥やし、自分を育てていくための肥やし、私は、そのように感じています。

肉は窮屈でした。肉を持って、どんなに凄まじいエネルギーを流そうとしても、私には、やはり窮屈でした。

その点、肉を持たない過去において、私は、ある一面、伸びやかに存在できていたんだと思います。

その私が、今の次元に、自らを進化させていくために、やってきたんです。

私は、自分の真意が、全く分かりませんでした。

それほど、もう暗黒の中に沈み込んでしまっていた意識に成り果てていたのです。今、私は、自分の中に、真実の光を見出して、本当にそれを実感します。

田池留吉の意識は、今世、私を探し出してくれました。私との出会いを待っていていま

した。そして、出会いを心から喜んでくれました。

それはなぜなのか分かりますか。私にはよく分かっています。

しかし、肉の次元では、決して、それは分からないでしょう。分からないどころか、言葉にとらわれ、自らの貴重な時間を無駄にしてしまうかもしれません。しかし、私は、あえて、事実を言葉にしてみました。

そうなんです。私との出会いから、すべてが始まっていくのです。

今世もそうでした。もちろん、二五〇年後もそうです。

次元移行への流れは、今世と二五〇年後の時点で、大きく展開していきます。

光と闇が会おう、そこに大きなエネルギーが合成される、そのエネルギーこそが、次元移行への大きなステップ、私は、今、そのように伝えます。

八六、今、私は、田池留吉、アルバートの意識とともに学ばせていただいています。

この学びは厳しいです。田池留吉の意識は、真実を真つ直ぐに見つめながら、その方向だ
けを促し続けます。

私は、もちろん、今世、田池留吉を学ぶために、今ここにあります。

自らの思いを、しっかりと知った時点より、私の心は定まりました。

学びをするにおいて、肉的条件は整って然るべきの状態の中で、私は、学んでいます。

逆に言えば、ある程度、肉的に整った状態でなければ、難しいというのが現状かもしれません。心を見る学びだからといっても、肉のゴタゴタの中から、自分の流してきたエネルギーを知って、そして、それを学びの奥深くに繋げていくことは、やはり少々難しいように思います。

肉のゴタゴタは、もう今世以前の過去において、数え切れないほど体験してきた、そして、今世は、それを出来るだけ早く片付けて、サッサと真の意味での学びをしていこう、私は、その思いで、今世の肉を持ってきたんだと思います。

それほど、私の意識の世界は、逼迫ひつぱくしている、していたんだ、宇宙を思う私の心に、そう伝えてくる私がいいます。

八七、真正面から真つ直ぐに、田池留吉に向かっていった意識、私は、そんな意識でした。

自分の中に真実を伝えたかったからです。その思いが、今の私となっています。真つ直ぐに、田池留吉に向かっていった意識、その波動、そのエネルギー、私は、からめ手からは行かない、真正面から真つ直ぐに、田池留吉に向かっていきました。

その凄まじいエネルギーが、今、ここに真実の自分を見出す原動力となつていったことを、感じています。ただただ嬉しいです。喜びが溢れてきます。

この喜びは、決して消えることはありません。私の中にさらなる喜びが広がっていく原動力です。

ブラックのエネルギー、ああすべてが喜びでした。

私の中に、今、その喜びの世界が広がっています。

たくさん宇宙に喜びを伝えていける、これからの二五〇年という時間が、私には、とても楽しみです。

肉を持ったからこそ、今の喜びに出会いました。そして、肉を離し、この世界を広げてまいります。そして、再び、肉を持ち、最終の時へ思いを集中していくのです。ただただ嬉しいです。

田池留吉、アルバート、真剣に真っ直ぐに、直球で私に伝えてくれたその意識に、私も、真っ直ぐに返していったからこそ、今の私があることを感じていきます。

八八、肉から意識への転回、ただそれだけです。

そして、肉を本物とする思い、それをクルリと転回していくには、もはや、その手段は、天変地異しかないことを、宇宙は伝えてきます。

そうなんです。肉を本物としていては、どんなに真実を追究していこうとしても、それはできないことなのです。

人間という存在は、それぞれが、それぞれの場で、本当は何かを求めています。だから、人間は生まれてくるんだし、そのために、そこで、様々な体験を重ねていくことも確かです。しかし、それだけでは、どんなに悩み、苦しみ、様々な体験を重ねても、絶対に解き明かすことができない世界があります。それが真実の波動の世界です。

もはや、人類は、何も分からなくなってしまったのです。

だから、自らが肉を持ち、そして、天変地異を体験して、形がごとごとく崩壊していく様から、何かを感じ取っていくことが、絶対に必要なのです。

つまり、今、目の前の崩壊をどのように受け止めていくのか、いけるのか、その中にある自分とは、一体どんな存在なのか、そういうことを思わざるを得ない局面に、自らを引導します。自分がエネルギーであり、そのエネルギーの根っこにあるものは何なのか、どんなエネルギーと繋がっているのか、それを、それぞれの心で体験していく時間が、これからの時間です。

自らを苦しみの中に沈めてきたものは、いったい何だったのか、度重なる天変地異の中で、何度もその問いかけが聞こえてきます。

天変地異は、真実を促すメッセージです。そのエネルギーは、ただ自らの過ちに気づき、そして、自らを目覚めさせる喜びのエネルギーです。

自分で自分を目覚めさせていくものは、この喜びのエネルギーだけです。

どんなにこの世に功績を残し、名を残しても、宇宙のもくずとなつてさ迷い続けていく意識もあるだろうし、名もなく、何もなくても、ただ自分の本当の姿を見出していく意識もあります。

宇宙からのメッセージは、奇麗事は伝えてきません。ただ伝えてくるのは、意識の世界には、何の狂いもないということです。そこには、本当の優しさと温もりがある、私は、そのように感じています。

八九、これから転生をしていくことは、地獄を確認するということです。

自分のいる場をしっかりと認識するために、転生をしていく人類です。

それが肉を持っていく意味、真実を知らずに存在してきた自分達に、これまでとは比べる

ことができない出来事が待っているのです。

そんな中に転生をしていく人類の心の中は、ほとんど壊滅状態です。

今ももちろん、すでにその兆しが現れています。

しかし、これからの時間は、その比ではないのです。

宇宙に向けた喜びのエネルギーは、そのようにして、地球人類に呼びかけてくるのです。

真実の自分の姿に目覚めていくように呼びかけてくるのです。

心の中の神を離していきなさいと呼びかけてくるのです。

何度も、何度も呼びかけてきます。あなた達は、そんなにちっぽけな存在ではないことを伝えてきます。

疲弊し切った極限の中でこそ、真実を灯す光を自らの心に見出せる、二五〇年の地球時間を経て、宇宙がはつきりと、それを証明していきます。

自らの中に本当の愛があった、私は愛でした、私は喜びでした、その気付きを促していくもの、それが宇宙からのエネルギー、真実に目覚めた宇宙からのエネルギーです。

九〇、宇宙の彼方に広がる意識達があります。その思いに心を向けます。

私達の心を知ってください、知ってください。今、温かい温もりをあなた達に伝えています。どんなに、どんなに暗くても、どんなに、どんなに苦しくても、どうぞ、心を私達に向けてください。

今、私達は、心の中に、田池留吉、アルバートの真実の波動がしっかりとあることを、あなた達に伝えているのです。

宇宙は、私にとって、大きな、大きな喜びの世界でした。その宇宙に、今、私は、もともとあった姿に戻っていきこう、喜びの思いを伝えられることが幸せです。

宇宙は、もともと喜びでした。私は、その喜びの姿だった宇宙を思い出しています。心に蘇らせています。この思いが、遙か、遙か彼方の宇宙に届くように、これからの時を、宇宙に向けて存在していきます。

私達の宇宙は喜びへ帰ります、そのメッセージを伝えたい、心の中にその思いが広がっています。

私の学びは、ちっぽけな学びではありませんでした。この宇宙を喜びの宇宙へと変えていくこと、それが私の思いでした。私は、そのためにこの次元に降り立った。そして、田池留吉、

アルバートの意識と、今、出会って、心に喜びを大きく育てています。

まだまだ喜びは、全開していません。心の中にある喜びを、もっと、もっと知っていくために、私は、これからの時を過ごしていきます。

私の宇宙に向ける思いは、並々ならないものがあります。

ただ優しい温もりを伝えるのではなくて、本当に私達は喜びでしたと、しっかりとした思いを伝えたいのです。どんなにしても、喜びの世界へ帰っていかうとする思いを伝えたいのです。

九一、今、私は、宇宙を語っています。自分の中の宇宙を語っています。語る機会をいただいています。絶好のチャンスをいただいています。

暗黒の宇宙に光が点り、長き眠りより自らを自覚めさせた意識の流れは、本当にすごいと思えました。地球にとってはもちろんのこと、宇宙には大きな出来事でした。今世に照準を合わせてきた、この思いを、以前より、私の中に伝えてくるのです。意味が分かりました。

さらに、二五〇年後に照準を合わせています、その意味ももちろん分かります。

なぜ肉を持つてくるのか、肉を持つてきた真の喜びが、心に伝わってきた今世でした。

肉を持つことに恐怖し、忌み嫌い、そして肉を持たせた母に、自分に、呪いと恨みのエネ

ルギーを流し続けてきたこれまでが、どんなに愚かな自分だったのか、肉の喜びと幸せにばかり心を奪われ、体のいい理屈で己を誇示してきた愚かな自分の姿は、哀れとしか言いようがありませんでした。

しかし、私は、ただ嘆いているだけではありませんでした。いいえ、嘆く暇などありませんでした。

愚かでしたと心で分かった時から、自分のなすべきことが、本当に自分の心に入ってきた。今世の時間が、自分にとつて、どれほど大切な時間だったのか、心に染み渡ってきました。しかし、今世の私にしても、二五〇年後に、肉を持てば、暗闇の中に、一旦は沈むのです。肉とはそういうものです。そんな愚かな肉を持ち、再び浮上していくからこそ、そこに起こるエネルギーは、確実に仕事をしていきます。そういう道筋を歩むことが分かっているから、私は、ただただ嬉しいです。次元移行に関わる私のエネルギー、それがたまらなく嬉しいです。

九二、今、学びは、宇宙に向けて、どんどんどんどん進化していています。

宇宙に向けての瞑想が主となっています。

宇宙に向けて、自分を感じることを、自分の流してきたエネルギーを見つめていくこと、そ

れがすべてとなつていくでしょう。

これからも、ますますその方向に向かつていきます。

なぜならば、田池留吉、アルバートが、その方向を指し示しているからです。

セミナーは、ちつぽけな学びではありません。数など問題にしていません。宇宙に向けて発信していくセミナーです。

そのことを、どうぞ、心で分かつていってください。

しかし、これは、意識の転回が捗らなくては、とても、分らないことです。学びに集っている自分は素晴らしい、自分の意識は、とても大きなものだ、そうやって肉的にとらえるからです。

そういうことを言っているではありません。

どれだけ苦しみ、のた打ち回ってきた意識であるか、そんな意識が、今、ようやく、ほんの少しの安らぎを感じさせていただいているのです。

どうぞ、そのところを、しっかりと分かつていってください。

チャネラーであるとか、チャネリングができるとか、そういう段階がすごいのではないのです。そんなことは、大したことはありません。人間は、誰しも、チャネラーです。そのように、私は伝えました。

そういうところで、留まっていなくて、もつと、もつと、自分の奥深くを見つめていく、そのところに、エネルギーを注いでいってほしいと思います。

宇宙に向ける瞑想、それがこの学びの今現在です。

しかし、宇宙に凄まじいエネルギーを垂れ流してきた意識、その意識が、母の温もりを心に蘇らせることなく、確立することなく、ただ欲のままに、それを続けていると、心の針は、遠からず違う方向に、どんどん向いていくでしょう。

今なら、田池留吉の肉はまだあります。しかし、田池留吉の肉が、この世から姿を消したそれ以降、自己確立ができていなければ、その結果は、もう火を見るよりも明らかです。

九三、私は、今、宇宙に向ける瞑想を通して、私は、私の勉強をさせていただいています。

私の宇宙と、母なる宇宙、田池留吉、アルバートの宇宙、ひとつに重なって、私は、今、その喜びを感じています。

ここにあったんです。私の宇宙はここにありました。その喜び、今ここにお伝えしています。波動として感じていってください。言葉ではありません。どれだけ言葉を積み重ねても、真実の世界はひとつです。

その喜びを感じたならば、もうあなたの心は、本当に嬉しい、嬉しい、ただただそれだけです。どんなに苦しくて暗くて、冷たい宇宙を広げてきても、今、私は、その中にこそ、本当の宇宙があつたんですよ、はつきりとそのように伝えることができます。

どうぞ、どうぞ、異語で語っていただく。異語で、宇宙と交信していただく。ただし、何度も言います。母の温もりです。基本はそれです。

母の温もり、その思い、その心を思い出していくこと、それが、条件です。そうでないと、ただただ異語を発し、交信していく中で、あなたは、自分が作ってきたエネルギーに翻弄されていくでしょう。

しかし、それもまた、自己選択、自己責任です。

しっかりと心を定め、ともに歩いていこうという呼びかけに、応じていただく。

心の中に、思いを向ける、それは、大きな喜びです。異語で語り合う、宇宙を語り合う、大きな大きな喜びです。その本当の意味を、それぞれの心で知っていける、これからにしていただく。

九四、宇宙から語ります。

心の中に、田池留吉、アルバートの心、その思いを思い起こしてください。

どうぞ、どうぞ、しっかりと心を見つめていってください。温もりがあなたに語ります。

宇宙からのメッセージは、温もりです。宇宙からのメッセージは、波動です。そのように伝えていきます。この思いをどうぞ、どうぞ、受け取っていってください。私は、この思いを伝えたい。この肉を通して伝えたい。

心の中を、もつと、もつと見ていってください。

皆さん、肉は同じです。どなたも、どなたも愚かです。肉とはそういうものです。

肉の思いは、皆さん同じです。しかし、田池留吉、アルバートの世界と通じている意識、その意識から流れる波動、喜びの波動、喜びの思いは違います。

それを、どうぞ、どうぞ、皆さん、感じていってください。

誰が一番、誰が特別、そうではありません。ただ、田池留吉、アルバートの波動と通じているか、そうでないか、あなたのエネルギーは、どこと通じているか、それを、自分の中で検証していく、その学びをしていってください。競い合う学びではありません。そのことをお伝えします。

九五、宇宙をもつと語りたい、語りたくて、語りたくて仕方がありません。どんなにすごい宇宙だつていいのです。

私達は、もう苦しみから解き放たれる時がきています。私は、それを、宇宙全体に伝えていきたいのです。

私の思いは、この地球にだけ向いているのではないことが確認できて、それがたまたまなく嬉しいのです。

なぜ、田池留吉、そして、アルバートを思うと、こんなに嬉しいのか、今までの積み重ねの中から、ようやく、本当に自分を語りたかった思い、宇宙に触れていくことで、それが、手に取るように感じられます。

ああ、私達は、本当にひとつだったのです。

私は、肉の田池留吉にも、肉のアルバートにも、そしてこの私の肉にも、本当はあまり頓着していません。

ただ、宇宙を解き放していくのに、そして、本当に喜びの世界、本当の喜びの宇宙を確認していくのに、肉という形が、どうしても必要だったのです。そこから、真実が分かってくるということから、ただ肉を持つてきただけのことです。

と言っても、田池留吉の肉、アルバートの肉、私にとっては、もちろん最高のものです。それは、それらの肉を通して、私達の繋がりを、心に感じているからです。

心に宇宙、その世界を広げていけば、私達の繋がりは、もう本当に永遠の過去から永遠の未来へと続いていく喜びだった、それを本当にちっぽけな、どこにでもある肉を通して、感じられるのだから、響き合う世界はすごいと思います。

田池留吉に思いを向ければ、出会いをありがとう、本当にありがとう、ただただその思いが伝わってきます。

本当に喜んでくれているんだなあと感じます。真実の世界を、どんどんどんどん進んでいくことに、ただただ喜びの思いを向けてくれていると感じます。思いを向ければ向けるほど、喜びが伝わってくる、それは、同時に私の中が喜んでいくということ、こんなに嬉しくて幸せなことはありません。

限りなく広がる宇宙の中で、今という時間空間を共有できている幸せを、感じます。

肉の次元では、出会いがあれば、別れがくるけれど、私達の世界には、それは関係がありません。別れがこない世界、私達は、そんな中にありました。

九六、UTA会の時間をお借りして、私達は、これから宇宙に向ける学びを、本格的に進めていきたいと思っています。

私は、以前より、自分と宇宙は切り離せないものだという思いが強くなりました。それは、自分の口から異語という何とも奇妙な音が、自然と出てきた時点で、思いが向いていくのは、やはり宇宙でした。

今は、その異語、私は宇宙語と思っていますが、その異語を日本語に変換する作業をしています。異語で語っている内容を、そっくりそのまま日本語に置き換えることは難しいというか、無理なことだというのが実感です。本当に語りたいことに、見事にフィットする日本語の表現はないというか、そういうことです。

異語が出てきた時と相前後して、私は、この地球上に降り立った、降り立ったという思いが出てきていました。今思うに、それが、私の中での宇宙からのメッセージの最初だったのでしよう。

最初は、何でこんな突飛もない思いが出てくるのか分からなかったし、しかし、そういうふうにも思っていくと、今世の私を振り返れば、何かこの肉の生活に、どこかなじめないというか、ぎくしゃくしている感じがあったことを思い出してきました。

そして、さらに時間を経っていくと、自分が、この地球上で肉を持つ時間は、もうあと僅か

なんだということも心に感じてきました。肉を持つ時間が僅か、では、その僅かな時間に、自分がするべきことは何なのかと、自分の中で機会あるごとに思うようになりました。

こうして、私は、私の心が上がってきたものを持ちながら、学びをしてきて、そして、今、ようやく、宇宙に向ける学びに、本格的に取り組んでいます。

どうぞ、あなたも異語を発していつてください。異語と異語で語り合いましょう。

異語は、あなたの頭を通しません。あなたの思いが、素直に出てきます。

あなたの思いが素直に出てくるといふことは、異語を発することにより、自分のエネルギーが、心に響いてくるのです。

そうやって、響いてきたものをただ感じていけばいいのです。自分の中が、一斉に呼び合っていることが感じられれば、さらにいいです。

自分の中の宇宙が待っている、そのことを、喜びとして感じられれば、いいかと思えます。

九七、私の宇宙を語ります。

心の中に、私の宇宙を語ります。宇宙は喜びの思いを伝えてきます。

心の中に、田池留吉、アルバートの宇宙が語ってくることを感じます。

大きな、大きな喜びとして、私の中に、温もりが広がっていくのを感じます。

この心、この喜び、この喜びの波動が、私の中の宇宙に返していきます。そうやって、私は、私の中で、喜びを広げていっています。

心の中が、どんどん広がっていくのが分かります。

ふっと思いを向ければ、喜びなんです。もう何もありません。

ただただ、田池留吉、アルバートの宇宙があるだけです。

私の中にそのように語ってきます。

私は、今、異語で、どんどん自分の中の宇宙を語っています。

心は喜びです。宇宙を思うことは喜びです。

どんなにしても、この喜びに代えるものではありません。

ただただ宇宙を思えること、今、その時間が与えられていること、私のこの肉を持ちながら、宇宙を思うこと、そう、二五〇年後、三〇〇年後、そしてその後、私は、こうして私を思っていてだけです。

もうその時点では、宇宙という思いも、田池留吉、アルバートという思いもありません。た

ただただ広がっていく空間があるだけです。

私は、その空間を、今、感じています。とても、とても、広い、広い、広い、広い、広い、広い、広がっていく空間です。

優しい、優しい、ただただ優しい温もりがあるだけです。心の中にあるのは、そんな思いです。私は、その世界から、今、この地球、そして宇宙を見つめています。

私の中に、どんどんそのところより、伝わってくる思いを、私の中の宇宙に伝えてまいります。これから、私は、その作業をしてまいります。

九八、次元を超えて、私の心は、どんどんどんどん突き進んでいくのを感じます。心の中にあるのは、喜び、喜びだけです。

真実に向かって歩いていく、真実に向かって存在していく、それが私でした。

心の中に、こんなに喜びがあるなんて、とても、とても信じられなかったです。

ああしかし、今、宇宙に向ける瞑想を続けていくうちに、私の中は、本当に喜びに変わっていくのを感じています。

宇宙が大好きでした。どんなに苦しくても、狂っていても、どんなに冷たくて閉ざされて

いようとも、私は、必ず、温かい母の温もりを伝えていくと誓ってきたのです。私は、そうやって、大きな決意をして、今世生まれてきたのです。

だから、とても嬉しいです。今のこの時間、とても嬉しいです。

肉を持つ時間に、この喜びと出会えたことが嬉しいです。

どんなに、どんなにこの時を待っていたか、心の中に、ありがとう、ありがとう、そのように響き渡っていくのを感じます。

私は、もう何も要らないんです。こうやって、宇宙を語っていく時、私は、私の中に帰っていただけるを感じるからです。

苦しく、辛く、悲しい閉ざされた世界から、私は、私の本当にもとあつた姿に帰っていきける、喜びの道を、しっかりと歩いていきます。

田池留吉、アルバート。ありがとうございます。

次元を超えて、私の心の中に広がる世界…、ああ、私が待っていました。

九九、どうぞ、どうぞ、それぞれの心の中に宇宙を思っていてください。

宇宙に向けて、瞑想をしていてください。あなたの心の中にある宇宙を解き放していく

方向に、どうぞ、どうぞ、これから進んでいってください。宇宙に向ける瞑想の中で、どんどん自分の心が解き放たれるのを感じていくと思います。

何も恐怖することはありません。どんどんどんどん語っていけば、あなたの心のヒダは緩み、そしてそこから凄まじいエネルギーとともに、喜びの思いが噴き出します。

その爽快さを、皆さん、どうぞ、ご自分の心で体験なさってください。

もう今はそういう時期です。宇宙が、どんどんあなたあなたの心にも語ってくるでしょう。心の解放を求めてきます。

そんな宇宙に、どうぞ、あなたの心から母の温もりを伝えてあげてください。

そう、宇宙に向けてあなたの中の思いを、どうぞ、異語で語ってください。

私達は、待っていますと、田池留吉、アルバートの宇宙は待っていますと、あなたの中に伝えてくるでしょう。

そうなんです、私達は待っています。あなたが心を開いてくれるのを待っています。

どうぞ、どうぞ、心に向けてください。宇宙に向けてください。

私達は、温もりでした。本当に喜びでした。ああ、宇宙は恐怖するものではありません。宇宙は、暗くて沈んでいるのではありません。宇宙は、とても、とても明るいものです。そのよ

うな思いを、自分の中に向けていってください。自分の中の宇宙に向けていってください。待っています。心の中が解き放たれるのを待っています。

こうやって、今、あなたの心の中で語っていることを、それぞれが信じていってください。

宇宙は、あなたにとって、己を表す、そういうものではありません。

宇宙は、あなたにとって、喜びをもたらすものです。喜びとともに凄まじいエネルギーを感じていくのです。

宇宙に培ってきたエネルギーをどんどん感じていき、そして、その宇宙に母の温もりを伝えていけばいくほど、喜び、喜びが噴き出てきます。その体験をどうぞ、なさっていただく。

一〇〇、波動の違いを感じます。次元を超えて、自分の心に響く波動の世界、そして、この三次元に思いを向けた時に感じる波動の世界、全く違います。

波動の違いを感じます。三次元は、重い、重い、重い、本当に重いエネルギーの中にあります。

そんな中で、田池留吉、アルバートと、どれだけ心に向けても、その重い、重い中から飛び出していくのは難しいと感じます。

それは、意識の転回なのでしよう。意識の転回を進めていくうちに、波動の違いを心に感じます。波動の違いを心に感じれば、自分が握ってきた重い、重いエネルギーを解き放していくのはたやすいです。

解き放していくというのは、自分を軽く、軽くしていくこと、それには、自分に優しい思いを向けること、母の温もりを心に広げること、それしかないことが、即座に分かってきます。本来は、軽い、軽い、広い、広い、広い、温もりの中にあつた自分の世界を、こんなにも重く、重くしてしまったのは、他ならない自分だった、そうやって、心で気付けることはいくらでもあります。

そのことを伝えていただきました。

田池留吉、アルバートの波動より、そのことを伝えていただきました。

どうぞ、どうぞ、心を、その重い中から解き放してくださいと、そのように伝わってきます。はい、今、心の中にある思い、とても、とても嬉しいです。

軽やかに、伸びやかに広がっていく世界、それが本当のあなたですよ、そうやって、それぞれの心の中に伝えていけばいいだけです。

本当に簡単なことでした。ありがとうございます。心の中に、喜びが、広がりが、温もりが、今、伝わります。

重く苦しく、蓋をした中から飛び出していくのは、あなたですよ、あなたの心なんですよ、そうやって、ただただ伝えていけばいいんです。

一〇一、宇宙より、メッセージをどんどん送っています。波動として受け取っていただく。心の中に、田池留吉、アルバートの宇宙があることを伝えていきます。どうぞ、心に向けていくようにしていただく。

あなたの中に温もりがあります。私は、この思いを伝えます。
どうぞ、どうぞ、宇宙を解き放していただく。

自分達の心の中から、宇宙を解き放していくのです。お母さんの温もりを伝えていってください。

田池留吉、アルバートの宇宙は待っています。心を解き放してくれるのを待っています。宇宙は待っています。私達とともに、次元を超えていく宇宙、その宇宙を解き放していくのは、あなた達のこれからにかかっています。

宇宙は変わっていきます。これから、私達は、その宇宙を変えていくエネルギーを、どんどんどんどんこの地球上に、宇宙全体に送ってまいります。これが、私達の役目です。私達の

思いを、どうぞ、どうぞ、受けていってください。

波動は流れています。エネルギーは流れています。

愛のエネルギー、喜びのエネルギーは、どんどんどんどん地球を目指して流れていきます。宇宙が、宇宙が呼んでいる、宇宙が心に呼んでいることを、感じていってください。

どうぞ、どうぞ、心を開いて、もつと、もつと、心を開いて、いってください。

今世、学びに集った人達はもちろんのこと、集わなくてもいいんです。

ただただ、私達は、これから二五〇年の間に、この思いを伝えてまいります。

この思いを、どうぞ、受けていってください。

私は、今世、地球上に肉を持ち、そうこの日本の国に肉を持ち、アマテラスの目覚めを待ちました。そして、アマテラスは予定通り目覚め、今、温かい、温かい温もりをその心に広げていっています。

アマテラスの心を、どうぞ、どうぞ感じていってください。

私達は、これから、もつと、もつと、宇宙を解き放してまいります。宇宙に喜びの波動を、喜びのエネルギーを広げてまいります。

一〇二、次元を超えて広がっていく宇宙を思っています。宇宙は変わっています。過去よりの宇宙は、もういいんです。私の中に未来へ広がっていく宇宙、明るい、明るい宇宙を感じます。心の中に喜びの思いが広がっていく、ただただ広い、広い温もりの空間がある、そんな中で宇宙を思う時、過去からの宇宙、そのすべてが喜びでしたと、そのように伝えてきます。

閉ざされた世界、冷たく閉ざされた世界、果てしなく続いてきました。

しかし、今、私は次元を超えて広がっていく宇宙の喜びを感じています。

宇宙が広がっていく喜びを感じています。心に感じているのはそう、そんな思いです。

宇宙は広がっているんです。閉ざされているわけではありません。広がっていく、どこまでも、どこまでも広がっていく、温もりの中に広がっていく宇宙、それが私でした。

そうしていくと、私がこれまで歩いてきた時間、その宇宙の中にあつた自分、それを、ただただ包んでいけばいいだけです。

この喜びの中に、すべてが包括されていくのだと感じます。

こんな嬉しいこれからの時間の中に存在していくのかと、今、心に、何とも言えない喜びが沸き上がってきます。

田池留吉、アルバート、その中に溶け込んでいく意識の世界、宇宙が広がっていきます。ひとつになつていくこれからの時、すべてが喜びでした。

はい、私は、今世肉を持ち、この未来を感じています。来世の私も、今の私とピッタリひとつになって、この世界を感じています。

これからの二五〇年の間、とても楽しみです。

一〇三、心を、ただ一点に定めることです。一番簡単な道は、それです。

心を定めることです。何をどのように感じても、自分の中が定まっていけない限り、そのエネルギーに翻弄されていくだけです。

私は、ひとつのところを見つめています。はい、それは、二五〇年後、そして、次元移行、その一点を見つめ、私の心は、ただ一直線に進んでいます。

すべてが、その方向に突き進んでいくことを、私は願っています。

しかし、まだまだ反対勢力、抵抗勢力が渦巻いています。二五〇年の間、凄まじい勢いを感じます。

それらのエネルギーは、すべて、意識の流れに反発するものです。

しかし、私達は、必ず思いを遂行していきます。

それが、意識の流れの本質、私達の本質だからです。

この思いは、全く揺らぎはしません。不動のものです。一点を見つめ、私の心はその方向に、しっかりと照準を合わせています。

田池留吉、アルバート、私は、心の中にこの広がりを感じる意識、すべてがひとつの意識を感じます。その広がりを感じます。

閉ざされた心を開いていくことが、人類に求められていること、宇宙に求められていることです。

そして、その意識達がひとつになって、これからの時を経ていく、そこには、大きな、大きなエネルギーが必要です。

喜びへ帰っていくために、大きなエネルギーが必要です。そのエネルギーは、天変地異という形で、現れてきます。

天変地異のもとに、すべてが喜びへ変わっていく道筋、意識の流れを伝えます。

一〇四、心の中に、田池留吉、アルバートの宇宙、そうその中に私の宇宙があります。とてもとても大きな中にあります。

心向けると、私の中に伝わってくるのは、安らぎです。温もり、優しい思い、広がる思

いです。そして、もっと、もっと、心を広げていきなさい。そのように伝わってきます。心の中の温もりから、そのように伝わってきます。

心を広げていきなさい。もっと、もっと、広げていきなさい。宇宙は、広い、広い、広いんですよ。

はい、この時間と空間を超えて、私達は、今存在していることを、確認しています。たくさん宇宙が、今、心に向けています。

凄まじいエネルギーで、心に向けようとしています。自分達のエネルギーを知っていくためです。田池留吉、アルバートの宇宙へ、心向けるといことは、自分達のエネルギーを知っていくことです。そして、そのことが、喜びなんです。ひとつに同化していくことが、喜びです。自分達の凄まじいエネルギーを確認しなければ、その中に溶け合うことはありません。

今、喜びの扉が大きく開かれています。しっかりと心を見るように伝わってきます。宇宙は喜び、宇宙は喜びです。たくさん宇宙が、ここへ心に向けようとしています。

一〇五、宇宙に向ける瞑想より

田池留吉、アルバートの宇宙とともに、心を広げてまいりましょう。

心の中にどんどん、田池留吉、アルバートの宇宙を感じてまいりましょう。

自分の道筋を確かめながら、そう、この波動の世界を感じていってください。

過去、宇宙に君臨してきた意識達、そのエネルギーを宇宙に流してきた意識達、パワーを与えてやると、我に心を向けよと、ブラックのエネルギーを流し続けてきた意識達、田池留吉、アルバート、そのほうに心を向けなさい。

心の中に、田池留吉、アルバートを呼んでいくのです。

宇宙は変わっていきます。温もりの宇宙へと変わっていきます。

あなた達の心の中にあつた温もりを、思い起こしていきましょう。

苦しく、辛く、寂しい宇宙を、自分達の中から、解き放していくのです。宇宙に君臨してきた意識達、その愚かさを知っていきなさい。

母の温もりに帰ってきなさい、そのような呼びかけを、心に素直に受け止め、どうぞ、心を解き放していってください。

田池留吉、アルバートの意識、その宇宙が、今、心に伝えています。

苦しい中を存在し続けてきた意識達よ、どうぞ、本当の宇宙に帰ってまいりましょう、はい、そのように、今、たくさんの宇宙達に、心を向けるように促しがあります。

どうぞ、ともに学んでいってください。自分達のパワーの世界は、小さな世界だったということ、そのパワーの中にあるものは何なのか、心に知っていってください。

呼べども、呼べども聞こえなかったこの心の中に、今、田池留吉、アルバートの宇宙が心に広がっていく時間と空間がありました。

心の中にたくさんの宇宙を抱え、存在してきた私の中に、今、確かな喜びと温もりの世界があります。

たくさんのメッセージを心に受けてきました。あなたが帰ってくるのは、田池留吉、アルバートの宇宙ですよ、温もりの世界なんですよと、私は、たくさんのメッセージを受けました。喜びの思いとともにたくさんのメッセージを受けました。

今、その心が、一斉に叫び合っている状態です。宇宙に向けて、私は、この時間を過ごしてきました。

お母さん、この宇宙を知るために、三億六千年、この地球上に転生を繰り返してきました。宇宙を感じるために、この時間を費やしてきましたのです。

今、私は、来世の私とともに、過去の私を、しっかりと心に呼び戻し、そして、未来へ行く時間を感じています。

田池留吉、アルバート、確かな波動の中にあつた自分を心に感じ、私は、とても幸せです。未来へ心を馳せる時、ああ、何とも言えない喜びを感じます。

宇宙大に心を広く、もっと、もっと、心を広げていってください。

意識の世界は、宇宙大です。どこまでも、どこまでも広がっていく世界です。そんな世界を、私はあなたに感じていってほしいのです。

心の中に田池留吉、アルバートを呼んでいってください。

ああ、お母さん…、宇宙は、母の温もりの中になりました。ああ、お母さん…、アマテラスですか、バシヤールですか、アマンドールですか、ルシフォーですか。私は、名前など何でもいいんです。ただただこの心の中に喜びが伝わってきます。

宇宙に君臨してきたブラックのエネルギーだけど、今、本当に喜びを伝えていきます。心の中に、ああ、喜びが広がっていくのが分ります。お母さんの思いが広がっていくんです。この思いが、私の宇宙を変えました。お母さん、ありがとうございます。この思いが、確かに、私の宇宙を変えました。今世、田池留吉、アルバートとの出会いにより、私の宇宙は、この思いに変わりました。

私の宇宙、ああ、お母さんの思いに蘇っていった宇宙…、ああ、ああ…。

一〇六、宇宙に向ける瞑想の中で、喜びを感じていってください。

どれだけ、どれだけ待っていてくれたことか、自分の中の宇宙に喜びを伝えてください。心の中に喜びを伝えてください。温もりを伝えてください。

宇宙を思える今が、とても幸せです。そう思える思いを、素直に伝えてください。心の中の宇宙は、待っています。

はちきれんばかりの喜びを、その心の中に伝えていくのです。

閉ざされた世界から、自分の中を解き放していく、こんな素晴らしい時間、空間が与えられていることが、喜びです。

宇宙に心向けると、素直にそのような思いが伝わってきます。皆さんもそうでしょう。私は、宇宙に向ける瞑想がとても楽しみで、本当に心がずっと広がっていくのを感じます。

私は、もう何も要りません。目を閉じて、このように自分を語る時、本当に幸せです。たくさんの宇宙を心に広げてきました。そして、今、その宇宙達とともに、次元を超えていくこ

とを感じています。もう私には、間違いない道筋を心に伝えることが喜びです。

宇宙に向ける瞑想をしていってください。

どんなに狂い続けても、どんなにパワーを求め、その中に自滅していったとしても、宇宙は待っているんです。優しい、優しい、温もりを待っています。

どうぞ、どうぞ、異語で、心を通じ合わせていってください。

あなたが、この学びに従って、母の温もりを心に感じ広げた分、その分だけ宇宙に喜びが伝わっていきます。母の温もりを伝えるために、今、あなたがその肉を持っています。そして、こうして、宇宙に向ける瞑想ができるんです。どうぞ、どうぞ、母の温もりを伝えていってください。

一〇七、セミナー会場で、波動を感じていっていただきたいと思います。

宇宙に向ける瞑想の中で、波動を感じていっていただきたいと思います。

それしかないんです。それぞれの心で、波動を感じていくこと、それしかありません。

言葉など、いくらでも並べられます。しかし、心の中に沸き起こる思い、そして、それが波動となって流れていくエネルギー、その喜びの波動、喜びのエネルギー、それは、それぞれ

の心で、しっかりと感じていかなければなりません。

それがセミナー会場での大きな学びです。セミナー会場だからこそ、その波動を感じられるのです。

どうぞ、皆さん、集ってきてください。あなたのその肉を運んでください。

ただ、私は、それだけを願っています。

波動の世界、波動の勉強です。みんなで心をひとつにして、波動の勉強をしていきましょう。あなたのその肉を通し、しっかりと波動を感じていってください。

真実の世界の波動を感じていってください。お母さんの温もりの波動の世界を感じていってください。

そして、それぞれの心の中で、自分が培ってきたエネルギー、波動を、どうぞ、心で見えていってください。それしかないんです。本当の反省はそういうことです。

波動を心で感じることに、そして、その波動の違いを心で感じ、その修正に努めていくこと、それしかありません。

一〇八、宇宙に向ける瞑想より

田池留吉、アルバート、宇宙を感じていけばいくほど、今、肉をいただいた意味が心に、強く、強く、喜びとともに響いてきます。なぜ生まれてきたのか、その思いが強く響いてきます。

宇宙を思つて、瞑想を続けていけば、自分との約束がクローズアップしてきます。

自分との約束、そう、本当の自分との約束でした。

自分を思うことが、こんなに嬉しくて、嬉しくて、喜びがコンコンと湧き出てきます。温かい思いが、湧き出てきます。こんなに嬉しかったんです、喜びだったんです。

闘いと破壊のエネルギーでしかなかった宇宙から、こんなに温かくて嬉しい思いが伝わってきます。自分の心の中からコンコンと沸き起こる喜びと温もり、今、宇宙に向ける瞑想をすれば、その世界が広がっていきます。

田池留吉が肉を通して伝えてくれた世界、私の中で確実に広がっています。

心に温もり、本当の温もりを自分の中に蘇らせることなくして、自分を変えていくことはできません。母の温もりだけが、自分を変えていけるのです。

宇宙に向ける瞑想の中で、自己供養の喜びを味わっています。自分を包んでいけばいくほど、そこから溢れるほどの温もりと喜びが伝わってきます。

一〇九、自己確立をしていってください。真の自己確立をしていってください。

その意味が、心で分かれば分かるほど、今世の肉のありがたみが、心に広がってきます。その喜びが、ずっと、ずっと心の奥まで、染み渡っていきます。

お母さん、ありがとう……。心の叫びとともに噴き上がってくる思いは、この思いしかありません。

そして、私は、私の中に生きていました、そんな何とも言えない喜びが、湧いて出てきます。思えばいい、思うだけで嬉しい、私は、こうしてこれからの時間を経っていくのだろうと思います。

瞑想をする時間を持つこと、宇宙を思える時間があること、田池留吉、アルバート、母を思い、そして、遥かなる宇宙に帰っていくこれからの思いを馳せる喜びを、心で知ったこと、そのどれもがみんな、私に、限らない喜びと温もりを伝えてくれるメッセージです。

こんな幸せなメッセージが、私の中には尽きることなく溢れ、そして流れ続けていたんです。過去から未来へ続く時間は、今の一点に集約されていました。

一一〇、心で気付いた人から、始めてください。

どんどんどんどん、自分の中の愚かさを見ていきましよう。見ていけばいくほどに、喜びが溢れてきます。

そうすれば、自分達は、苦しみ喘ぐ世界ではなくて、喜び溢れる世界にあったことが、自ずと分かってきます。

意識の世界は、もうすでに、そういう時間を用意しています。

もちろん、これから地球全体、宇宙全体に起こってくる様々な現象を通してということですが、苦しみの奥底に沈んできた自分に優しい思い、温もりと喜びの思い、そして、真実を伝えていける道が、すつと目の前に広がっています。

肉の思いは、離そうとしても離れるものではありません。そんなことに腐心せずとも、ただ、自分の中の真実に目覚めれば、心はすつと軽くなっています。そして、軽くなるだけでなくて、本当の意味でしっかりとしてくるのです。

その心は、自らの姿、自分の本当の思いを知った喜びと幸せに支えられているからです。揺るぎのない喜びと幸せ、何にも左右されない喜びと幸せです。

だから、その心は不動の心です。伸び伸びとどこまでも広がっていく、しかも温かい、温

かい温もりの中で、どこまでも広がっていく心です。

その心は、ただひとつ、自分の本当の姿、本当の世界を知ることによって、芽生えてくるのです。

それは、これからの時間の中で、どなたにも訪れる転機でしょう。

そして、その流れに、全托していけるかどうか、これからの時間にその問いかけが、何度も訪れます。

もともとあつた心なのに、遠くに捨て去ってしまった愚かさ、まず、気付くことから、すべてが始まります。そのためには、これからの現象が、大いに手助けをしてくれます。

それは、喜びと幸せは、自分自身だった、その自分に思いを向けていくことを促すエネルギーです。

宇宙の風 —宇宙からのメッセージ— 第1巻

2010年4月20日 第1版第1刷発行

編集 / 発行 U T A会

印刷 / 製本 モリモト印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

© 2010 Printed in Japan